

# 福岡大学

## 学園通信

FUKUOKA UNIVERSITY MAGAZINE

51

October, 2015

# Initiative

特集：自ら「つかみ取る」



## 建学の精神

思想堅実・穏健中正・質実剛健・積極進取

### 教育研究の理念

- 「人材教育」と「人間教育」の共存
- 「学部教育」と「総合教育」の共存
- 「地域性」と「国際性」の共存

## CONTENTS

### 3 特集:Initiative 自ら「つかみ取る」

- ・工学部社会デザイン工学科  
松藤 康司 教授
- ・二宮麻里セミナー  
(商学部商学科 3年次生)
- ・人文科学研究科 博士課程後期 1年次生  
西 幸子さん
- ・法学部法律学科 3年次生  
岡村 啓汰さん
- ・筑紫病院 内視鏡部長  
八尾 建史 教授

### 11 充実CAMPUS LIFE

- 法学部法律学科 3年次生  
相園 健太郎さん

### 13 情熱の証

- ・七隈祭実行委員会
- ・体育部会 水泳部

### 15 FUKUDIARY

- ・オープンキャンパス

### 17 研究室を訪ねて

- 友景 肇 工学部電子情報工学科 教授  
世界初の国際標準規格となった  
「部品内蔵基板」を横に  
メーディング日本の栄光を取り戻す

### 19 福眼力

### 21 講義ライブ90分

- 理学部化学科 必修科目「有機生物化学実験」  
「失敗こそ意味がある」  
学生主体の実験を通して有機反応を体感し  
「現象の根本原理とは何か」を考える

### 23 時代を駆ける先輩たち

- 伊藤忠商事株式会社  
生鮮食品部門 農産部  
出田 大樹さん

### 27 就活メモリー

- ・全国農業協同組合連合会  
福岡県本部 管理部 総務人事課  
柴田 耕太郎さん
- ・九州電力株式会社  
古場 裕介さん

### 29 ヒポクラテスの系譜

- 最新モデル医療ロボット「タビネチX」の  
九州初導入でより高度な先進医療を提供

### 31 平成27年度 科研究費の採択結果

### 33 平成26年度 学校法人福岡大学取支決算

### 36 ななくま通信

# Initiative

このままでいいのだろうか。  
当たり前のように過ぎていく毎日。  
自分は心から楽しんでいるのか。  
何か物足りない毎日。「どうせ——」。

知らず知らずのうちに限界をつくってしまっていた。  
それは自分自身だったのかもしれない。  
努力している人間を運命は裏切らない。必ず道は拓ける。  
人生の価値は「やろう」とする意志で変わる。  
自分に何ができるか。考えてみたい。  
人間には自分が必要とされていると感じ、  
生きていて良かったと思える瞬間がある。

立ち上がり、力強く進む。たとえ壁が立ちはだかろうと。  
幾多の壁を乗り越えていく姿に感動や共感が生まれ、  
仲間が集ってくる。  
自分自身が知らなかった自分と出会える時。  
きっと、その時が来るだろう。

## 表紙の字 Initiative

書道家 西尾 真紀さん



「積極進取」を力強く表現する西尾さん

「積極進取」。自発的に取り組むことは、特に若い時期には大切なこと。でも、独善的に進むようにはなってはいけません。周囲に心を配ることを忘れないでください。そして、ぜひ「本物に触れる」機会を多く持つてほしいです。優れた芸術作品や豊かな自然に繰り返し触れていると、きっと「自分の中に何か」が見えてきます。

Profile / 10歳から書を始め、福岡県立太宰府高等学校芸術科書道コースへ進学。3年時、福岡大学書道部主催西日本高等学校揮毫大会にて団体優勝、学長賞を受賞。2002年より現職、書道家としてロゴや広告制作をはじめ広範囲で活動。代表作は九州国立博物館シンボルマーク、伊都菜彩や小麦治のロゴ、他多数。また、フランスやメキシコ等海外で書パフォーマンスを披露。2015年から書道教室を開講。本学と西尾さんとのご縁は、2011年8月に行われた東日本災害ボランティア「福岡大学派遣隊」がきっかけ。学生たちは、西尾さんが揮毫した書「心ひとつに」を掲げ、被災地で活動した。



# 自ら「つかみ取る」

“Initiative”。「主導権」という意味で使用されることが多い言葉だが、「物事を率先して行う」「自発的に取り組む」という意味もある。今回の特集では、“Initiative”のテーマのもと、五つの実例を紹介する。

福岡大学で生まれ、今や世界に広がる「福岡方式」。

「ごみ処理は、誰かが取り組まないといけない問題だ」と、鋭い先見の明と強い使命感を持った研究者がいた。

世界初の早期胃がんの内視鏡による診断法を発見し、一人でも多くの命を救おうと世界各国で技術指導や講演を行う医師がいる。

そして、酒造組合からの依頼を受け、酒蔵にも足を運び、皆で考え、日本酒の魅力を伝えるイベントを企画、実現したゼミ生たち。風化が叫ばれる東日本の被災地に赴いた48人の学生と、それをまとめたボランティア活動のリーダー。国際学会での発表に挑戦し、新たな知見を得た大学院生。

「与えられる」のではなく、自ら「つかみ取る」。率先して行動を起こす。自ら乗り越えていく。そのことで得られる力、成長は計り知れない。歴史に名を遺した偉人たちも、数々の言葉を残している。掛け替えのない経験。仲間との助け合い。挑戦した者だけが味わえる感動。すべては「積極進取」から始まる。

- 進み続けよ、決して安住してしまっはいけない。

スティーブ・ジョブズ

- 私は失敗を受け入れることができる。しかし、挑戦しないことだけは受け入れられないのだ。

マイケル・ジョーダン

- なんでもいいから、まずやってみる。

岡本 太郎

- 進まざる者は必ず退き、退かざる者は必ず進む。

福沢 諭吉

- 今日なし得ることに全力をつくせ。しからば明日は一段の進歩あらん。

アイザック・ニュートン

- 生きるとは呼吸することではない。行動することだ。

ジャン＝ジャック・ルソー

# INITIATIVE

# 世界に広がる「福岡方式」 福岡大学で生まれた画期的なごみ処理技術 時代の先を見越した情熱と挑戦

## 福岡方式とは

福岡大学と福岡市が共同開発した、「準好気性埋立」と呼ばれる環境保全型のごみ処理立ての技術。ローコストでシンプルなおみ処理法として、日本はもちろん、アジア諸国を中心に世界10数カ国で実用化されています。

「ごみ処理は誰かが取り組まなければならぬ問題」と花嶋教授

福岡大学工学部土木工学科(現:社会デザイン工学科)の水理衛生工学実験室(花嶋正孝福岡大学名誉教授)と福岡市が1975年に共同開発し、日本各地はもちろん、マレーシア、イラン、中国、イタリア、ベトナムなど世界10数カ国に導入されている技術があります。その名は「福岡方式(準好気性埋立)」。環境を保全しながら、安全にごみを処理する画期的な技術開発の原動力となったのは、時代の先を見越した研究者たちの情熱と挑



2015年春、ケニア・キアンボ県のティカに福岡方式を導入。アフリカでは最初で、国内外から注目を集めた

戦でした。開発チームの一員であった松藤康司教授は、開発の経緯と世界的に評価された理由をこう語ります。「この実験室は、私の恩師である花嶋正孝教授により1966年に設立されました。当時の日本は、高度成長の最中

で、産業が右肩上がりになるにつれ、ごみが大量に出ていた時代です。当時はまだ、ごみ処理と環境の関係性に光が当たるとは少なく、ごみ処理場に大量の害虫が発生したり、ひどい悪臭が漂ったり、今では想像もつかないような悪影響が少しずつ問題になり始めていました。水保病やカネミ油症などの公害も深刻な時代でした。」

当時、福岡大学薬学部で学んだ花嶋先生からの「薬学部で学んだ水質分析技術を工学科の研究に応用したい」という要請に応える形で花嶋先生の実験室を訪ねました。「このごみ処理の研究には、将来性がありますか」と尋ねたら、「将来どうなるかは私にも分からない。しかし、ごみ処理は誰かが取り組まないと行けない問題だ」「明日は分からない!!」という答えが返ってきた。「その答えの率直さが新鮮

で面白いと感じた松藤先生。じゃあ、やります?」即答し、薬学部の卒業論文と水理衛生工学実験室での実験見習いという二足のわらじを履きながら、寝る間もない日々を過ごします。翌春卒業するとすぐに花嶋先生の実験室に入り、本格的にごみ処理の問題に取り組みました。

あるデータのかすかな違和感を突き詰め、考察を尽くして新技術の原型となった仮説を立てた

実験室の助手になってからは、午前3時に起きて福岡市東区八田のごみ処理場に通い、汚水の水質や臭い、微生物などのデータ収集に明け暮れました。当時厚生省(現:厚生労働省)の委託研究である「大型好気性埋立実験」で収集したデータを見てみると、1件だけいつもより水質が良く、悪臭も少ない結果が出ていました。「その数値は、私たちの目指すべきところではあります。当時のごみ処理場そんな数値が出るはずはなかった

術の指導を行っています。松藤先生は、これまでの約40年を振り返り、「薬学部からごみ処理の世界へ。畑違いと思われることもありましたが、公衆衛生の立場で人を救うという点は共通しています。産業発展とともに、環境や人が受ける悪影響を未然に防ぐためにはどうしたらいいか、それが私のテーマです。頭で考える。分からないときは現場に行く。作業を着て、現場で働く方々と話していたから気付けたこともたくさんあります。」入りの出会いを大切にしながら、「あせらず、あわてず、あきらめず。福岡大学から生まれた技術が時代と国境をも越えて

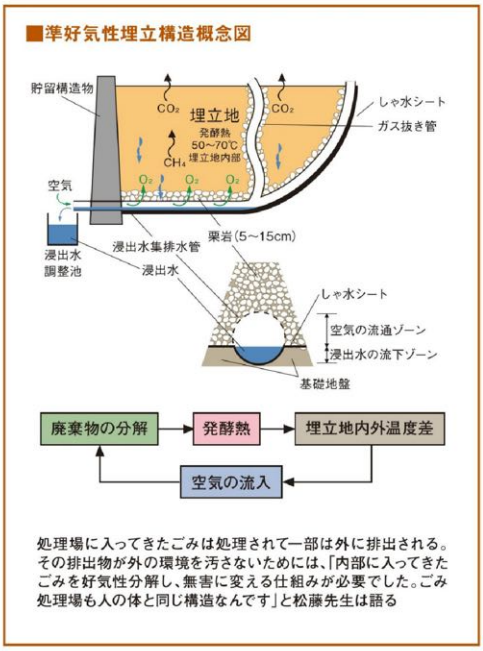
選ばれ続けているのは、産官連携の研究チームがこうした姿勢を崩さないからだ」と誇りに思っています」と語りました。

のです。研究者の立場からすると、出るはずのないデータ(つまりネガティブデータ)です。しかし、そこに何かしらの発見があるかもしれないと、我々はこの異常値の原因解明するための仮説を立てて検討しました。この時に生まれた、埋立ごみが空気に触れたことで好気性微生物が寄与したのではないかとという仮説が「準好気性埋立(福岡方式)」の柱になりました。そして、この研究報告を厚生省へ提出。これを知った当時の福岡市環境局の技術者であった岩下彰郎氏が、その研究を机上の空論に終わらせず形にするために、「知恵は福岡大学から、資金は福岡市から。責任

は私が取る」と背中を押し、第一号の準好気性埋立地が開設されました。まさに人との出会いのおかげでした。松藤先生は当時を振り返ります。続いて神戸市、横浜市、仙台市、札幌市などでも実証試験が行われ、確かな効果が認められました。その後、微生物研究の学術的な裏付けも加えながら、福岡方式は進化を続けついに海外でも採用されるようになります。松藤先生はJICA(Japan International Cooperation Agency:国際協力機構)の衛生理立の専門家として1988年から2年間マレーシアに派遣。福岡後は本学で120カ国を超える国からの研修生に、この技

術の指導を行っています。松藤先生は、これまでの約40年を振り返り、「薬学部からごみ処理の世界へ。畑違いと思われることもありましたが、公衆衛生の立場で人を救うという点は共通しています。産業発展とともに、環境や人が受ける悪影響を未然に防ぐためにはどうしたらいいか、それが私のテーマです。頭で考える。分からないときは現場に行く。作業を着て、現場で働く方々と話していたから気付けたこともたくさんあります。」入りの出会いを大切にしながら、「あせらず、あわてず、あきらめず。福岡大学から生まれた技術が時代と国境をも越えて

日本でも海外でもごみ処理場の環境を整備するためには、現場で働く人々と心を通わせることが大切(プーンでの写真)



処理場に入ってきたごみは処理されて一部は外に排出される。その排出物が外の環境を汚さないためには、「内部に入ってきたごみを好気性分解し、無害に変える仕組みが必要でした。ごみ処理場も人の体と同じ構造なんです」と松藤先生は語る



福岡市八田埋立場における発生ガスの測定風景

現場で指導する埋立構造の開発者・花嶋先生(1971年当時)

### 松藤先生が教える大切な6つのM

松藤先生は、「プロジェクトを進めるには、この6つのバランスが最も大切」と言う。福岡方式を世界各地に導入するに当たり、その土地によって人や物・金などが異なる条件下で、この6つのMのバランスを念頭に置き、現場で働く人々とコミュニケーションを取りながら、足りないものをどう補っていくか、アイデアと経験値でカバーしている。

- M**aterial (モノ)
- M**oney (金)
- M**an power (人)
- M**anagement (運営)
- M**aintenance (メンテナンス)
- M**otivation (モチベーション)



福岡大学工学部 社会デザイン工学科 水理衛生工学実験室 松藤 康司 教授

福岡大学薬学部製薬化学科卒業。工学博士、技術士(衛生工学)、薬剤師。専門分野:廃棄物工学、環境微生物学、衛生工学。主な研究実績:「資源循環型社会における埋立地のあり方」、「紙おむつのリサイクル」など。2013年秋には環境大臣表彰も受賞。福岡方式は、2011年にCDMの新技術として国連から認定。



少しの勇気を出して未知のものに触れる。その行動を起こすと、好機を得られる。

## 初めての学会発表を国際学会で 博士論文へとつながる高い評価を得る

ためらう気持ちに  
ムチを入れながら前へ進んだ

初めての学会発表を、海外で行われる国際学会の場で。「そんな打診を教授からいただいたのは、大学院に進んだばかりの2013年4月。とても自分のできる自信はなく、当初は「逃げたい」と思うほど気が進みませんでした」と、西さんは当時の心境を振り返ります。その学会とは、福岡大学考古学研究室が韓国の二つの大学と共同開催している「三つ大考古学交流会」で、2013年の開催地は韓国の慶南大。研究者を志す西さんには、大きな成長につながる絶好のチャンスでした。「暗くて狭くて入るのが怖い石室でも少しの勇気を出して中に入れば、必ず新たな発見が得られます。このときも「好機を逃すべきではない」と、気後れしそうな気持ちにムチを打って発表準備に取り組みました」と、西さんは学部生時代に没頭した馬術部の活動になぞらえながら、「乗り越えた思い」を話します。

自ら動く自発的な意志が  
新たな知見を引き寄せる

この時の発表テーマは、古墳時代中・後期(5〜7世紀)の「補修馬具の研究」。当時の韓国では手付かずに近いテーマでもあり、参加者に評価を受け、学界での人脈も一気に広がりました。「4月に打診を受けてから学会が開かれた8月まで、約4カ月間。担当教授に論文を何度も突き返されながらも、逃げずに取り組んできたおかげで、なんとか形にすることができました」と西さんは言う。以後、学術調査のために何度も渡韓し、翌年夏には自らの意志で韓国・釜山大学校への3カ月間の海外留学も果たしました。

西さんは現在、「馬具生産」をテーマとする博士論文の構想を練る毎日です。「何事にも積極的に取り組む自発性があればこそ、新たな発見や独自の視点が得られます」と、自らの経験に照らし、自信を込めて話す西さん。最後に、これから論文制作に取り組む在学生に向けて「何か一つでも新しいこと、自分の意見



2014年秋、資料調査をした韓国で先生と学生と



9月、実測図作成のため、資料調査で石造物を実測している様子

人文科学研究科  
博士課程後期1年次生  
西 幸子さん

福岡大学人文学部  
歴史学科を卒業し、  
大学院へ。小学生の  
ころから考古学に関  
心があったことと、学  
部生時に、馬術部で  
の活動をきっかけに、  
研究テーマは「古墳  
時代の補修馬具と馬  
具生産」に。

を1%でも盛り込むことが大切です」と、メッセージを贈ってくれました。



積極性を持った人が共に行動すると大きな力になる。個人の満足感より、全員共有の連帯感のために。

## 「オトナ学校日本酒クラブ」のイベント成功 130人の参加者を集め 日本酒のイメージアップに貢献

ゼミ生全員で企画・運営した  
「オトナ学校日本酒クラブ」

2015年6月、商学部の二宮ゼミは福岡県酒造組合の協力の下、若い世代に日本酒の魅力を伝えるイベント「オトナ学校日本酒クラブ」を、福岡市内のカフェで開催しました。このイベントは、日本酒を飲む若い人の減少傾向に危機感を持った同組合からのオファーをきっかけに、学生による実践的なマーケティングの一環として開催されたものです。企画・運営はゼミ生15人、全員3年次生です。2年次の秋から準備を進め、19の歳元の協力を得て、イベント当日は130人の参加者を集めました。結果は大成功けれど、そこに至るまでの道のりには、紆余曲折がありました。

自発的な参加意欲の有無で  
取り組み方も達成感も変わる

「4月、3年次初回のゼミの微妙に重たい空気が忘れられませんか」と話すのは、全体リーダーの時田さん。2年次のうち

に、昼の部と夜の部に実施する各イベント内容の骨組みはほぼ完成。春休み中、時田さんと昼の部リーダーの吉野さん、夜の部リーダーの矢野さんの3人に加え、連絡が取れたメンバー数人、ある程度まで準備を進めた後で、最初のゼミでした。「休み中、準備に関わったか否かで、ゼミ生の中に微妙な温度差がありました」と言う矢野さんの言葉を、吉野さんが補足します。「LINEで連絡を取っていた関係で、情報の共有が不十分だった面もありました」。やがて、みんなで始めた活動だから、みんな達成感を味わいたいと考えた3人は、レジュメ制作、撮影記録、司会進行など、15人の一人一人に得意分野を生かした明確な役割を振り分けました。以後、それぞれがみるみる積極的に行動するようになり、全員で熱意を共有して6月へ。あの4月の温度差は、すっかりなくなっていました。「みんなに自発的な意欲があれば良いアイデアも出ます。イベントが近づくと活発に質問や意見が飛び交いました」と時田さん。大きな壁を乗り越え、笑顔が輝いていました。



イベント開催に向けて、酒造見学。お酒造りの工程を学び、理解を深める



夜の部で、販元の方と交流を深める参加者

商学部商学科3年次生  
二宮ゼミナール  
時田 琴未さん(右)  
矢野 明音さん(中)  
吉野 冴映さん(左)

3人は商学部 二宮麻里准教授のゼミ生。福岡県酒造組合が主催し二宮ゼミが企画したイベント「オトナ学校日本酒クラブ」のリーダーとして奮闘。





「医師個人の高度な能力に頼らなければできない内視鏡診断の常識を変えた  
見せてくれた」

医師として一人でも多くの命を救いたい、という強い使命感。未知のものに対する募る好奇心。

## 世界初となる早期胃がんの内視鏡による画期的な診断法を発見 世界中から講演や技術指導の依頼が多数

「多くの患者さんを救うため、そんな思いを胸に八尾先生が研究を始めたのはおよそ27年前です。2000年には胃がんとヘモグロビンの関係に着目した研究を進める中で、通常は規則的に分布する毛細血管が、胃がんにおいては不規則に分布していることを発見。さらに同年、約80倍まで病変を拡大して観察できる内視鏡が開発され、研究の推進力に。八尾先生は、この内視鏡を用いて早期胃がんの不規則に分布した毛細血管を生体で世界で初めて捉えました。「この瞬間、科学の女神がために真理を見せってくれたと思うほどの感動を覚えました」と当時を振り返ります。その後、約600例のデータを収集して、早期胃がんをより確実に発見できる内視鏡診断法の有効性を証明。この診断法は徐々に国内外に普及し、医学の進歩に大きく貢献しました。

現在、八尾先生の元には、欧州やアメリカ、アジアをはじめ、世界中の国々から講演や技術指導の依頼が寄せられています。

八尾先生は、各国の医師と交流する中で、内視鏡診断のレベルにはらつきがあるという現実を目の当たりにしました。「いまだに医師各人の能力に頼りつきりで、早期がんを発見する技術が一定の水準にあるとはいえず、新しい診断法を広く活用できる段階ではないと痛感しました」と話します。そこで「人間の福祉と健康を支えることも大病院の医師の使命」という信念の下、「多くの患者を救うために、まずは多くの医師を育てる力となる」と決意し、自らに新しいテーマを課しました。そして、約5年の月日をかけて完成したのが世界中の医師が活用できる「内視鏡診断のe-Learningシステム」です。2015年5月には、世界35カ国515人の内視鏡専門医の協力を得て実証したシステムの有効性を、アメリカの国際学会で発表。「現在、世界消化器病学会のウェブサイトでの運用に向けて各関係機関と交渉中です」と語る八



内視鏡の技術指導のために年4回、中国(上海)の病院に赴き指導者を養成している

福岡大学筑紫病院では最新の高性能内視鏡を多数そろえるなど設備が充実

### 福岡大学筑紫病院 内視鏡部長 八尾 建史 教授

専門は内視鏡医学。早期胃がんの新診断法の発見で世界的な評価を得る。内視鏡を用いた光学医療に携わる国内外のトップレベルの研究者と連携。本学の基礎研究機関・光学医療研究所長も務める。



尾先生。内視鏡を用いた手術や診断、その可能性を開く活動は、これからも続きます。



強い思いが背中を押す。共に現場に触れて感じる体験こそ原動力。

## 全体リーダーとして48人のメンバーをまとめる 被災者からの数々の感謝の言葉で メンバー一人一人が成長

将来の教え子に自分の言葉で被災地の真実を語りたい

教員を目指す岡村さんは「東日本大震災は教科書に載るほどの歴史的な災害。被災地を自分の目で見て、人々との触れ合いを通じて得た実感をも自分の言葉で、将来の教え子たちに伝えたい」と、2015年8月、東日本復興支援プロジェクトに参加しました。

6月、プロジェクト開始に際し、岡村さんは自ら手を挙げる形で全体リーダーに。「2日間、迷った末の決断でしたが、もっと消極的な性格ではないのですが、リーダーになるほどの自信や思い切りはありませんでした。ただ前年この活動に応募したものの参加がかなわず、今年こそ、という思いが人一倍だったのは確か。強い思いが背中を押してくれました。」

自分の目で見たいという強い意志が自発性を生む

8月18日(火)、メンバーは一週間

の復興支援活動に出発。現地では48人が3班に分かれ、それぞれ事前に設定したプログラムに沿って活動しました。「私の班は人々との触れ合いをテーマに、小学校や仮設住宅を訪問。農作業のお手伝いしました」と、岡村さんは振り返ります。「印象的だったのは、個々のメンバーがみるみる積極的になったことです。予想以上に復興が進んでいない町。初めて見た、犠牲者の名前や年齢を刻んだ石碑。「報道では伝えられていない現実を知りたい」ともつ知りました。力になりたいとみんなが思いました。その結果、事前の会合にもほとんど参加せず、現地でも最初は寡黙だった人が、仮設住宅の皆さんに自分から質問し、イベントでも別人のように進んで手伝うようになった姿を何人も目にしました。やはり自分の目で見ること、見たいという意志こそが、自発性を生むきっかけになると私は思います」と、確信を込めて話す岡村さんは現在、12月に予定されているプロジェクトの事後研修の



石巻市内で見つけた標識。復興に向けた強い思いが伝わってきた

発表に向け、仲間と意思を一つにして、準備を進めています。

### 法学部法律学科 3年次生 岡村 啓汰さん

社会科の教員を目指して勉強中。将来、東日本大震災について「自分の言葉で生徒たちに伝えたい」と、東日本復興支援プロジェクトに参加。8月18日から一週間、南三陸、気仙沼、山元町を訪問した。



仲間の充実した日々には  
きっとあなたの将来の糧となる  
ヒントが詰まっているはずです。



2015年7月、スイスで開催された「パラサイクリングロードワールドカップ」に日本代表選手として出場

法学部法律学科 3年次生  
相園 健太郎さん

充実キャンパスライフ

## 充実CAMPUS LIFE

### 5年後、必ず東京パラリンピックで風を切る 高い目標を見据え、ひたむきに前へ

ペダルを踏むことに  
夢と仲間の輪が広がった

真つ赤なロードバイクにまたがり、さっそうと現れた相園さんは、法学部法律学科3年次生。課外活動ではサイクリング愛好会の幹事を務めています。「勉強以外では学生生活の大部分を自転車に占めています」と話すように、相園さんの一日は朝5時、久留米市の自宅から程近い、高良山までの往復約20キロを走破するトレーニングから始まります。「自転車の魅力を知ったのは、この高良山高校時代。友人のロードバイクを借りて約300メートルの頂上付近から一気に麓へ。風を切る疾走感に魅せられました」と振り返る相園さん。進学先は、公平な社会づくりに不可欠な法律に関心があつたことから、福岡大学の法学部へ。「サイクリング愛好会」があることも大きな魅力でした。軽やかにペダルを踏みながらは想像できませんが、相園さんは右の手足に先天性のハンディキャップを抱えています。「悩んだこともありました。小学生時代に水泳、中学・高校時代にはバレーボールと、スポーツに打ち込むうちに「ハンディキャップは個性」だと、前向きに捉えられるようになりました」と、笑顔で話す相園さん。

福岡大学入学後は、愛好会の活動の傍ら一般のロードレースにも出場。やがて障がい者のための競技会の存在を知り、日本パラサイクリング連盟の理事に直接連絡。連盟主催レースへの参加に自ら道を開き、2015年6月には栃木県で行われた日本選手権、さらに7月にはスイスで開かれたワールドカップと、パラサイクリング界のビッグレースに立つべく出場。日本選手権では「個人バシユート3キロ」で2位入賞を果たしました。しかし「2位入賞でしたが優勝した選手との差は歴然。ワールドカップでは世界の壁の厚さを痛感しました」と、表情を引き締めます。世界のレベルを知った7月以降、週2回だった早朝の高良山往復を週6回に増やし、筋トレのメニューも強化しています。自ら道を切り開く積極性は、キャンパス内でも同様。国際法のゼミでは仲間の発表を通じて国際情勢の変化に刺激を受けました。また、将来を見据えてエクステンションセンターの「公務員採用試験対策講座」の受講も始めました。愛好会では、幹事就任以降ミーティングを増やし、会員間の相互交流を促進させました。相園さんが入会した当時、約20人だった会員が現在では約50人まで増えています。「パラリンピックに出場できるのは、競技者の中でも限られた人だけ。もちろん私も、2020年の東京パラリンピックへの出場を目指しています」。前だけを見過ぎて、今日もひたむきにペダルを踏み込む相園さんです。

### 大いなる夢を後押ししてくれる仲間たちとの交流

#### 世界的アスリートや地域の自転車チームとも積極的に

自転車競技にのめり込むにつれ、人脈が広がっている相園さん。日本選手権で私が2位に入った種目の優勝者は、ロンドンパラリンピックの銀メダリストである藤田征樹さん。藤田さんと、日本パラサイクリング連盟理事の方には、同じ励ましをいただきました。「相園君は若い、これからだよ」とも勇気づけられました。「と話す相園さんの表情からは確かな自信がうかがえます。同様にサイクリング愛好会の仲間や、地元久留米市のサイクリングチームの皆さんにも「日頃からパワーをいただいています」と相園さん。「愛用のロードバイクを購入したサイイク

自転車競技にのめり込むにつれ、人脈が広がっている相園さん。日本選手権で私が2位に入った種目の優勝者は、ロンドンパラリンピックの銀メダリストである藤田征樹さん。藤田さんと、日本パラサイクリング連盟理事の方には、同じ励ましをいただきました。「相園君は若い、これからだよ」とも勇気づけられました。「と話す相園さんの表情からは確かな自信がうかがえます。同様にサイクリング愛好会の仲間や、地元久留米市のサイクリングチームの皆さんにも「日頃からパワーをいただいています」と相園さん。「愛用のロードバイクを購入したサイイク



購れやかな笑顔が日々の充実ぶりを映し出す

### 好きな授業をピックアップ

専門教育科目

#### 演習Ⅱ「国際法・国際関係論」

長谷川 正国 法学部教授

国際社会に関係する諸問題についてゼミ生各自がテーマを選び、発表。全員で議論を深め、差し迫った国際課題の解決策を考察します。原則は「全員参加」の徹底議論。それぞれが意見を発表し合い、さまざまな観点から物事を見ることを学びます。

### 相園さんの授業メモ

memo

ギリシャの財政危機等、ゼミ生の発表を通じて世界で今まさに動いているリアルな問題を知り、大いに刺激を受けています。私はスコットランドの独立問題について発表。この時の議論も白熱しました。



2014年9月、阿蘇にて愛好会の仲間たちと夏合宿



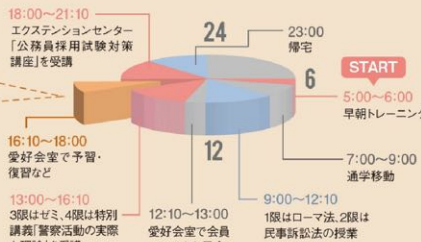
出場大会のゼッケンや表彰状は掛け替えのない宝物

### 相園さんの1日【授業と課外教育活動で充実している日の平均的なスケジュール】

16:10~18:00

#### 愛好会の会室は、自転車ファンによる自転車ファンのための自由な空間

愛好会会館にある会室は自転車好きが集まる自由なサロンといった趣。「大切にしていることは、会員に自転車の楽しさを体感してもらうこと。今年の夏には2泊3日の平戸サイクリング合宿も実施しました」と相園さん。



充実キャンパスライフ



部員全員が自己ベスト更新を目指して日々の練習に励む

## 体育部会 水泳部

室内プールに水の跳ねる勢いのよい音が響き渡ります。水泳部は、スポーツ科学部生を中心に男子19人、女子11人が在籍。部員全員が自己ベストの更新を目指して日々の練習にひた向きに取り組んでいます。代々受け継がれてきた部の4原則は、「挨拶励行」「上下の区別」「行動敏速」「時間厳守」。主将の三村浩介さん（スポーツ科学部4年次生）は「一人の競技者として人間性を磨かなければ、記録の面でも伸びていきませんか」と力を込めて話します。

三村さんは、海や湖で遠泳のスピードを競うオープンウォータースイミング（OWS）の日本代表として2015年7月、韓国の光州で開催された第28回ユニバーシアード競技大会に出場した実力者。「他国の選手と渡り合ったことや世界トップレベルの選手たちの意識の高さ、トレーニング法などを目の当たりにできたことは、貴重な刺激になりました」と大会を振り返るとともに、「その経験で部員全員と共有して各自のレベルアップの糧にしたい」と熱く語ります。

福大水泳部の持ち味は、部員の多くが同じ寮で生活し、厳しい練習をみんなでも乗り切ることで育んだ、強い団結力。「水泳は個人競技の色が濃いスポーツですが、私たちの部は



互いに厳しく律して練習に取り組むながら普段は和気あいあいとした雰囲気

## チーム全員の心を一つにして 日本学生選手権決勝進出を目指す

選手を支えてくださる監督やマネージャーに感謝し、他人を思いやりながらチームとして戦う意識を常に持っています」と三村さん。最後に「私たち4年次生は引退しますが、来年こそ日本学生選手権で一人でも多く自己ベストを更新し、決勝に進出してほしい」と後輩たちへの期待を口に出しました。先輩から後輩へと継承されてきた情熱は今も、そしてこれからも、水の中で自らの限界に挑み続ける部員一人一人の胸の奥で力強く輝いていきます。

### 年間行事

- 2月九州カップ水泳競技大会
- 3月九州学生短水路公認記録会
- 4月日本選手権水泳競技大会
- 5月 西日本年齢別選手権水泳大会
- 5月 ジャパンオープン
- 6月 九州学生選手権水泳競技大会
- 9月 日本学生選手権水泳競技大会
- 12月 冬季短水路公認記録会

## 情熱の証

## Student Life

— 学生生活 —

1パーソン、1サークル。  
学びを軸にサークル活動にも  
熱く燃え一生の思い出と仲間を。

## 七隈祭実行委員会



情報室伝用の横断幕を制作中。舞台設営、パンフレット制作など、貴重な体験が企画力や交渉力を開花させる

「七隈祭」は、毎年11月初旬に開催される福岡大学の学園祭。学内の各部活動やゼミなどの団体の他、地域の方々も参加します。学術研究発表や作品展示、スポーツイベント、人気アーティストを迎え催される前夜祭ライブや著名人を招いた講演会、例年およそ130を数える模擬店など、そのスケールとにぎやかさは、西日本最大級。60回目となる今年は、10月31日（土）から3日間に行われます。

今回のテーマは、「開花を意味する「Bloom」」。七隈祭実行委員長を務める下川一樹さん（工学部3年次生）はテーマに込めた思いを「学業はもちろん、サークル活動やボランティア活動など、新しい発見と成長のチャンスに満ちた福岡大学を、一人一人の才能や可能性を花開かせる場と捉えました」と、熱く語ります。

七隈祭の運営を担う実行委員会は、総勢約240人。その一人一人が

勢約240人。その一人一人が  
会計、渉外、渉内、企画、設営、情報宣伝等の役割を担い、5月の企画会議の段階から秋の本番に向けて、じっくりと準備を重ねます。

「学術研究発表やアートステージのような専門性の高いものから、キャンパスキング&クイーン企画、結婚式企画のような理屈抜きに盛り上げられるイベントまで、今回はアカデミックな要素とお祭りの要素をバランス良く調和した七隈祭となるよう、全力で取り組んでいます」と、下川さん。8月20日（木）の全体会議以降は、メンバー全員がほぼ毎日、夜遅くまで準備に追われます。華やかな舞台裏を支える努力が実を結ぶのは、七隈祭のフィナーレを飾る後祭のラストシーン。その年のテーマをかたどった文字に火をともし瞬間です。「例年、委員会メンバーの多くが感動の涙を流します」と下川さん。2015年も、メインステージに「Bloom」の火文字をともし、240人が思いを一つに、全力疾走しています。



### 年間行事

- 4月 新入生歓迎週間
- 6月 前期宣伝イベント
- 8月 夏合宿
- 10月 地域パレード
- 11月 七隈祭
- 2月 冬合宿



8月8日(土)に開催されたオープンキャンパスの様子をレポートします。



ランチタイムは各食堂で大学自慢の味に舌鼓

規模の大きさに感嘆の声が上がった図書館ツアー

AEDと人体模型を使って救命処置体験

個別相談ブースでは親子で熱心に話を聞く姿も

模擬講義(高学部)「POP広告作成を体験してみよう」

実験・実演講座(理学部)「あなたのDNAを見てみよう」

大学ならではの機器を使用した公開実験に高校生も興味津々

模擬講義(法学部)「アメリカの政治における女性のパワー」

学生スタッフが各所で丁寧に道案内

◆ 約1,500人のスタッフが各所で福岡大学の魅力を紹介 ◆

◆ 工学部個別相談コーナー ◆

学科についての質問が多かったので、橋や公園、道路、地盤などといった社会インフラを造るやりがいや、大きな構造物を造る楽しさを丁寧に説明しました。すると多くの参加者が目を輝かせ、初めて聞く社会デザインという分野に興味を抱いていました。福大でなら、やりたいことがきつと見つかるので、たくさん先輩にぜひ入学してほしいです。

工学部 社会デザイン工学部 4年次生 池田 隆太郎さん 近藤 美沙希さん



◆ キャンパス内をナビゲート ◆

福大のキャンパスは広いので、目的のイベント会場へスムーズに行けるよう、積極的な声を掛けようとしてスタッフ同士で話しました。実際、予想以上の広さに驚いている参加者が多く、ガイドブックや案内板を使って丁寧に道案内をしました。元気の良い高校生たちからは、福大に入学したいという意欲を感じました。ぜひ受験勉強を頑張ってもらいたいです。

経済学部 産業経済学科 3年次生 河野 雅さん



◆ 経済学部「ベンチャー起業論とビジネスプランコンテスト」 ◆

普段からこの授業は学生主体で行われ、協力企業へのインターンシップやビジネスプランコンテストへの挑戦などを通して、多くの出会いや発見があります。問題を見つけたり、解決法を考えたりと主体的に学ぶ中で、視野を広げられることや将来の目標を見つける楽しさを高校生に感じてもらえるよう、代表メンバーの体験談を発表しました。

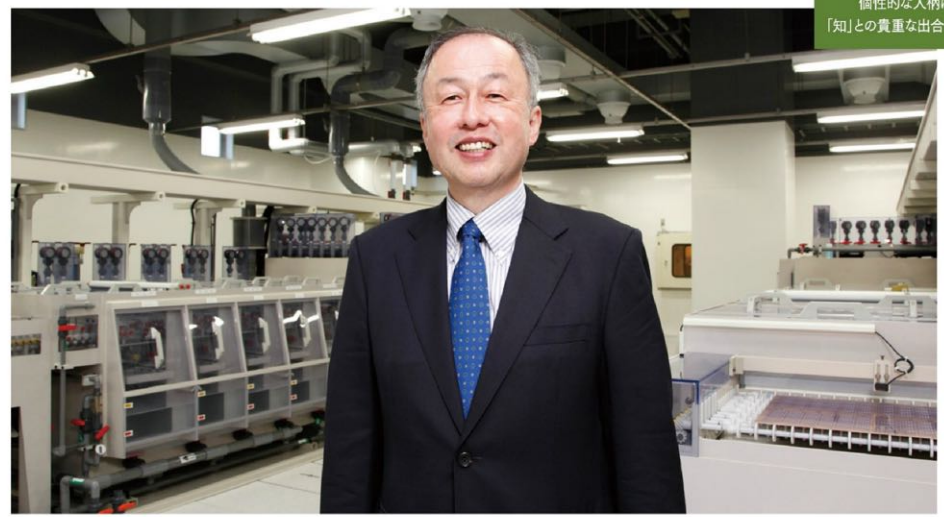
経済学部 産業経済学科 (左から)2年次生 柳田 美里さん、2年次生 山口 智史さん、3年次生 紫垣 寛さん



8月8日(土)、「オープンキャンパス2015」を開催しました。当日は昨年よりも約2,000人多い12,184人が来学。期待に胸を膨らませた高校生と保護者の皆さんを、おそろいのポロシャツを着た学生スタッフと教職員が迎え、元気に声を掛けながら丁寧にナビゲート。キャンパス内では、模擬講義や公開実験、個別相談や保護者向け説明会、そして学生スタッフがアテンドするキャンパスツアーなど、多彩なイベントが行われました。

教授陣の卓越した研究を知り  
個性的な人柄にも触れる。  
「知」との貴重な出会いのページです。

# 研究室を訪ねて



「電子部品を多層構造で実装する[三次元実装]は、電子機器の小型化・軽量化に欠かせない技術。その技術への信頼性を高め、確保するための条件を満たした研究施設です」と友景先生

研究室を訪ねて

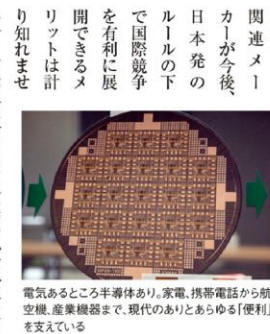
## 「半導体の可能性を広げる」「三次元実装」の研究 — 世界初の国際標準規格となった 「部品内蔵基板」を機に モードインジヤパンの栄光を取り戻す

工学部 電子情報工学科  
**友景 肇** 教授

「日本発」のルールで  
日本企業が国際競争をリード

2015年6月、福岡県庁で世界の半導体業界が注目する記者発表が行われました。福岡大学と福岡県を軸とする産学官連携で開発された「部品内蔵基板」の製造と品質管理に関する規格が、IEC（国際電気標準会議）において国際標準規格の認定を受けたのです。

「部品内蔵基板とは、従来は基板の上に実装していたLSIなどのチップを基板の中に埋め込み、飛躍的な小型化に成功したものの。ウェアラブル端末の高性能化、データ転送速度の向上、自動運転の精度向上など、電子機器の進化を強力に後押しする高密度デバイスです」と説明するのは、この産学官研究を主導する友景先生。「この分野での国際標準規格は世界初。つまり日本の半導体



関連メーカーが今後、日本発のルールの下で国際競争を有利に展開できるメリットは計り知れませんが、先生は今回の国際標準規格認定の価値を強調します。発表当日、県知事表敬訪問に続く記者発表でも「F1レースで日本車が勝つと、次の年からエンジンの規格を変えられたことがある。その逆をやろうという発想です」という説明に、多くの記者がうなずいていました。

先生がこの研究に注ぐ熱意の背景には、わが国の半導体産業の現状に対する強い危機感があります。電気複雑な制御を担う半導体は、携帯電話から航空機まで、現代のあらゆる「便利」を支える電子部品。1980年代後半、半導体分野では日本が世界を圧倒していました。「家電の生産現場が日本からアジア諸国にシフトするにつれて、

日本の半導体産業も縮小を余儀なくされました。しかし、半導体産業は非常に裾野の広い産業です。材料メーカーや半導体製造装置メーカー、設計をつかさどるCADメーカーなどの技術力は、今なお日本企業に一日の長があります」。この技術力を結集させ、再び世界に勝る技術を着たい。そんな発想から生まれたのが、先端材料や高度な回路設計技術、緻密な評価ノウハウを要する部品内蔵基板でした。

「今回の認定は、ゴールではなくスタート。世界が私たちに追い付いたころには、私たちはさらにその先を走っていなければならない。そのためには、日々の研究が重要です」。

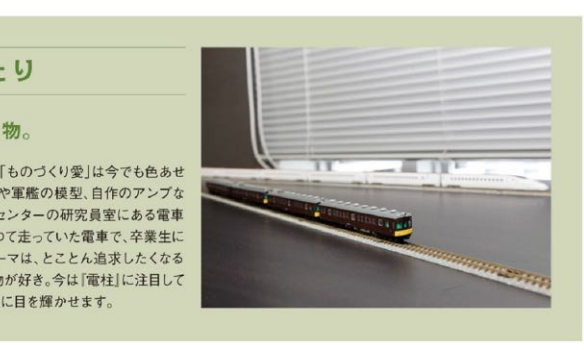
あります。センターに参画するメーカーは30社以上。普段は名刺交換の機会もあまりないライバル企業の技術者たちが、ここでは会社の垣根を越えて力を合わせます。専任の研究員や、友景研究室の学生が議論に加わることもあります。先生は「ほら見てください、誰が学生で誰が研究者か見分けがつかないでしょう。ずっと前からこんな場所を作りたかったのです」と、満足そうな笑みを浮かべます。

先生が、研究者間で自由に意見を交わす場の重要性を実感したのは、1987年、スタンフォード大学の客員教授として渡米した時期。「シリコンバレーで働く若手研究者が週末に集まり、ビールを飲みながら議論する様子を見て、新しい技術を生み出す土台はこういう場なのだと感じました」。

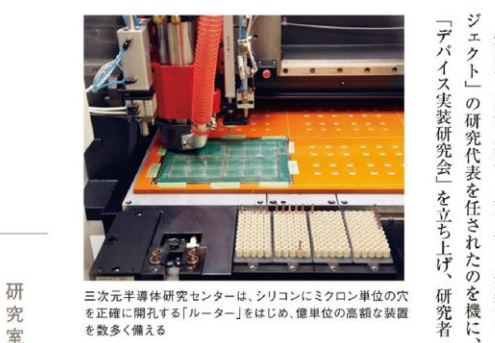
帰国後、国が主導する「デバイス実装プロジェクト」の研究代表を任されたのを機に、「デバイス実装研究会」を立ち上げ、研究者

の相互交流の場にするなど、産学官をつなぐネットワーク形成に尽力。「やってみようと思ったら全力で突き進む自発性は幼少のころから変わりません」と、先生。

「8歳のころ、ラジオを興味深そうにいじる私を見て、両親が近所の工業高校生を呼んでくれました。ラジオ製作の家庭教師というわけでした。以後、九州大学で半導体材料の物性研究に没頭した学生時代、半導体製造装置や評価機器の自作から始まった本学での活動、そして今日の公益に関わる産学官研究に至るまで、先生は全速力で走り続けています。



「研究を深めるには自ら学ぶ自発性が不可欠。やりたいと思うテーマを見つけた工学部生は、驚くほど成長します。そのきっかけを提示することが、私の使命であり、責任です」と先生。最後に「皆さんもぜひ「自分のテーマ」を見つけてください」と、福大生全員へ激励の言葉を贈ってくれました。



研究室を訪ねて



会社の垣根を越え、半導体産業の未来に向けて総力を結集する研究員の皆さん。センター専任の研究員には、友景研究室のOBが2人いる

### 研究室で発見! 先生モノがたり

卒業生から故郷の電車の模型の贈り物。

ラジオの自作に熱中した少年時代に始まる先生の「ものづくり愛」は今でも色あせることはありません。研究室には、たくさんの戦艦機や軍艦の模型、自作のアンブなどが所狭しと並べられています。三次元半導体研究センターの研究員室にある電車の模型(写真)は、先生の故郷・山口県の宇部線をかたどって走っていた電車で、卒業生にプレゼントされたものだそうです。「興味を持ったテーマは、とことん追求したくなる性格です。ものづくり以外でも、鳥や熱帯魚、観葉植物が好き。今は「電柱」に注目しています」と、先生は半導体産業の未来を語る時と同様に目を輝かせます。

福大で新発見・再発見

# 福眼力

福眼力

この活動を通じて、学生は大きな成長を遂げていく。  
一本松のメッセージをそれぞれが胸に刻んで。

「私にできることは」「私という存在とは」...

それを見て、それぞれが思う。

シンボルの一本松は少しだが緑を取り戻している。  
先が折れてしまった枝にはまだ新しい分枝の姿はない。  
海からの風にわずかな葉が身を揺らす。

## 48人が見た被災地 そこで感じた人との触れ合い 「東日本復興支援プロジェクト」のメンバーが ボランティア活動

### ■「東日本復興支援プロジェクト」

派遣期間 / 2015年8月18日(火)～8月24日(月)

参加人員 / 53人(学生48人、教職員5人)

主な活動 / 東日本大震災の経験談「語り部ツアー」から、自然災害を未然にあるいは直接防ぐ方法を学んだ「防災班」16人。南三陸町ボランティアセンターで漁業作業の手伝いを行い、現地の方々から今までどのように復興してきたのか、また、現在現地で何が求められているのかを学んだ「地域創生班」17人。小学校や仮設住宅を訪れ、被災者の心に寄り添った「精神的ケア班」15人。各班は自分たちで目的に合わせたスケジュールを組み、限られた時間を有効に使い、ボランティア活動を行った。



## 「失敗にこそ意味がある」 学生主体の実験を通して有機反応を体感し 「現象の根本原理とは何か」を考える

理学部化学科必修科目  
有機生物化学実験

先端化学の実証に取り組み教  
授陣の下、基本的な有機化学実験  
の操作を修得した3年次生を対  
象に、有機化学と生物化学の合成  
実験を実施。学生が自ら創意工夫  
しながら目的の化合物を合成す  
ることで、有機合成の技術や考察  
力を磨きます。

### 英語の実験書を読み解き 学生自ら実験プランを構築

試験管やビーカー、フラスコ、メスシリン  
ダーといった多くの実験器具やさまざまな  
試薬瓶が並び9号館3階にある学生実験室。  
理学部化学科の3年次の学生たちはここで、  
「有機生物化学実験」の授業で実験に取り組  
み、目前で起こる多様な有機反応や有機合成  
の真理に迫っています。

実験は2人1組で行うのが基本ルール。  
授業計画に沿って用意された5つのテーマ  
の中から各グループで実施するテーマを決  
めます。英語で書かれた実験書を一つ一つ

訳しながら実験プランを考える等、事前準  
備が必要です。「化学の分野における公用  
語は英語です。」発表されている論文なども  
全て英語で書かれており、化学は英語で学  
ぶことが国際的にスタンダードとなってい  
ます。ですから、英語力を身に付けること  
も授業の重要な目的の一つなのです。「話  
すのは担当教授陣の一人として授業を受け  
持つ大熊先生。さらに、「実験書はある程度  
の専門知識を有する者が見ることを前提と  
して書かれているため、実験のやり方や内  
容、プロセスが詳細に記されているわけ  
はありません。図や写真などの視覚的情  
報も極めて少ないので、学生たちは解説文  
と化学式を頼りに使用する器具や実験装置  
の組み立て方、試薬の分量や溶媒の濃度な  
どを自分たちで読み解き、考察すること  
が求められます。もちろん質問や相談には細  
かく応じますが、あくまで学生たちの自主  
性を最大限に尊重し、能動的に学ぶというの  
が本授業の大きな特徴」と付け加えます。

また、授業では時勢を意識した実験テー  
マを積極的に取り入れていると言います。  
その代表として挙げられるのが、「鈴木  
カップリング」。これは2010年にノー

ベル化学賞を受賞した北海道大学の鈴木章  
名誉教授を中心に考案されたもので、炭素  
同士を効率良くつなげ、目的の化合物を安  
全に作ることでできる画期的な合成法です。  
現在、高精細な液晶や治療薬の製造に應用  
されるなど、社会を支える重要な技術と  
なっています。学生たちは実験を通して  
現象のメカニズムを探究・考察し、こう  
した先端化学の理論も学びます。

### 失敗から学び

失敗の先に成長がある

授業とはいえ危険は付き物。実験では取扱  
注意の試薬を扱うケースも少なくありませ  
ん。それほど本格的な実験を行っている証し  
でもあるものの、一歩間違えば反応が過剰  
になって事故につながる可能性も決してゼ  
ロではないとのこと。そこで特に危険性の高  
い、実験スタートからの1時間は教授2人、  
准教授2人、助教2人の6人体制で全ての  
実験の経過に目を光らせ、安全管理を徹底。  
授業の終わりで最低でも2人の先生が残り、  
事故が起きないように細心の注意を払って  
見守ると言います。



実験は2人1組で取り組み、器具の組み立てや試薬の量の計算なども学生自身で行う



目前で反応が起こり、化学の面白さを実感することもしばしば



疑問や不明な点があれば教授陣が即座に対応



英語の実験書を読みながら学生が実験プランを考える

【5つの実験テーマ】  
●Wittig-Hörner反応によるアルケンの合成  
●ペプチドの合成および反応 ●ルミノールの合成および反応  
●芳香族のカップリング反応 ●スペクトル解析

授業中、実験室には学生たちが試行錯誤し  
ながら実験に奮闘する光景が広がります。  
実験仲間とお互いの見解を議論し合ったり、  
他グループの学生と実験結果について分析  
し合ったりすることも珍しくありません。  
しかし、必ずしも実験が成功するとは限らず、  
上手くいかない場合も多々あるのだとか。  
「溶液の加熱のし過ぎ」や「試薬の配合量の  
誤り」はもとより、洗ったガラス器具の乾燥  
が不十分などで、正確に反応は起こりませ  
ん」と大熊先生。続けて、授業の狙いについて  
こう語ります。「反応を起こすには条件があ  
るわけですが、それが適切にそろわないと反  
応は成功しません。しかし、いつもスムーズ  
に成功するわけではなく、そこで起こった失  
敗にこそ意味があるのです。失敗することで  
原因や根本原理の追究が始まり、その中で新  
しい発見があるのか、ないのかを考える。そ  
れがサイエンスの本質ですから。こうした  
経験を重ねることで、学生たちが幅広い  
視野や思考力を身に付けられるよう指導  
しています。」

最後に学生たちの成長や将来について尋  
ねると「実社会では、さまざまな問題にぶつ  
かることが多いはずですから。だからこそ、厳し  
い局面を自ら打開する力が重要なのです。  
立ちほだかる壁を乗り越えられるかどうか。  
そのときこそ、人としての真価が問われるの  
ではないでしょうか。学生たちには本授業で  
培った考える力を発揮して広く活躍してほ  
しいと願っています」という期待を込めた温  
かい言葉が返ってきました。

### Students' voice

自ら行う実験で化学の魅力に引き込まれ  
化学者になるという夢が見つかりました

理学部 化学科 3年次生 笠井 香澄さん

高校の授業で、炭素だけで多くの化合物が作れることへの不思議さに触れ、有機化学が好きになりました。もっと専門的に学びたくて福岡大学の理学部化学科へ進学。特に化学の面白さを感じたのが生物発光実験。ルミノールという発光物質を自分で合成し、それが実際に光った時は例えようのない感動を覚えました。将来の目標は、有機合成を専門とした化学者になること。この授業で経験する実験の一つ一つが全ての学びの刺激となっています。



### My Teaching style

自らの安全に注意を払いながら  
伸び伸びと実験に取り組んでほしい

大熊 健太郎 理学部 化学科 教授

学生たちには絶対につけがをしてほしくないで、実験中は試薬や溶液が体に掛かったり、目に入ったりしないように白衣と防護メガネの着用を厳しく義務付け、さらに女子学生には動きやすい靴を妨げるハイヒールの着用を禁止しています。単なる不注意で失敗するのでは意味がありませんので、事故のないよう安全に十分に配慮しながら学びを深めるよう指導しています。



社会の第一線で活躍し、  
時代を駆ける先輩たち。  
その軌跡に迫ります。

時代を駆ける先輩たち



時代を駆ける  
先輩たち

伊藤忠商事株式会社  
生鮮食品部門 農産部  
※現在、株式会社日本アクセスに出向中  
**出田 大樹さん**  
[商学部貿易学科 2000年卒業]

JA全農から転職し、伊藤忠商事へ。現在はグループ会社の日本アクセスに出向し、農産物のシステム改革を図る。その心の中には農業への強い思い。そして代々農業を営む出田家への誇りがある。

# 風を読み、風を捉え、風を起す 力強い行動力で日本の農業の未来に貢献していく

「農産物の生産から販売までのシステムそのものを変革していきたい」

東京都港区北青山の伊藤忠商事東京本社ビル、美術館を思わせるような1階ロビーの受付。出田大樹さんはよく通る声で「初めまして」と挨拶をしました。出田さんは、熊本県の農家に長男として生まれ、福岡大学商学部貿易学科を卒業後、JA全農（全国農業協同組合連合会）に就職。その後、伊藤忠商事株式会社に転職し、現在はグループ会社である株式会社日本アクセスに出向しています。所属する生産MD部で取り組んでいる仕事は、農産物の安定供給。例えばレタスやトマトなどの夏野菜は、需要に応じて年中安定的に供給することが難しい野菜です。また、生鮮品は腐敗しやすく、天候による出来不出来で市場価格が左右されるなどの課題があります。そこで日本アクセスでは、消費者に届くまでの（生産者→1A→市場→仲卸）という従来の流れではなく、国内外の生産者から直接買い付けたものを流通するシステムによって、中間の時間的ロスやコストを削減しています。「日本アクセスは、総合的なマーチャンダイジング機能や、高品質のロジスティクス機能

などを駆使し、食品流通を革新する新たな価値の創造を目指しています。その一環として、8,500台の輸送トラック網による強力な物流インフラを生かし、量販店・コンビニエンスストア・外食産業等に、農産物の大量かつ安定的な供給を行っています」と、出田さん。重要なのは、農産物の販売促進に関する効果的なプロモーションや適切な価格戦略。それらに対応し、顧客を満足させる商品の買い付け、廃棄ロスの少ない在庫最適化などです。そのためにはレタスやトマト等を海外から大量に買い付けるケースもあります。

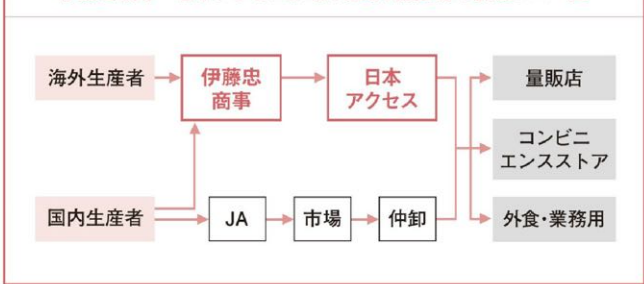
「このような業務が、いわゆるマーチャンダイジング（MD）です」と出田さんは付け加えます。かたちとしてはバイヤーズエージェント（買主代理）ですが、セラーズエージェント（売主代理）的な面もあります。ある青果の安定供給が実現すれば、その青果を生産している日本の農家の収入安定につながるのです。「私は農家の出身ですから、農業の素晴らしいところも、辛いところも知っています。だからこそ、農産物の生産から販売までのシステムそのものを変革していきたい。日本の農業の発展や繁栄に貢献したいのだ」と力強く語る出田さん。こうと決めたら

積極的に行動を起こす姿勢を身に付けたのは、福岡大学時代でした。「七隈キャンパスでの学び、そしてヨット部での経験が、今の私を育てたのだと思います」。

「海外への関心が強く、祖父や父の仕事の影響もあり貿易学科を選びました」

熊本県の農家に生まれた出田さん。中学時代は水泳部、高校時代は水球部で活躍したスポーツマンでした。大学進学の際は「農業以外なら何でもよかった」と話します。「サラリーマンに憧れていたのかもしれない。仕事や収入が安定していて、近代的な家に住み、休日には家族でお出掛け」。それは当時の農家ではかなえることが難しい夢でした。福岡大学を選んだのは、総合大学なら出会いをはじめとして、さまざまな可能性がある」と期待したから。そして商学部貿易学科に合格します。「農業を営んでいた祖父が幼少時代にハワイに入植していたことがあり、同じく自営農だった父は国際農友会の研修生としてアメリカに約10年間派遣されていました。そのような家庭でしたから、外国人が家に遊びに来ていて、私も海外への関心が強く

伊藤忠商事-日本アクセスが取り組む、農産物の供給フロー図



ありました。また、父の仕事が農産物商社のようにそんな仕事の影響もあって貿易学科を

時代を駆ける先輩たち

「選びました」。将来への夢を膨らませ、意気揚々と通い始めたキャンパス。期待通りさまざまな機会や出会いが待っていました。中でも、その後の人生に大きな影響を与えたのは、体育会部のヨット部と合力先生のゼミでした。

「大学時代の自己分析フレーズは、気合いあり、空回り多し。」

ヨット部との出会いは入学して間もないころ。先輩部員からクラブの勧誘を受けて能高クルージングに誘われ、「そのまま小戸の合宿所に連れて行かれた」のがきっかけです。激しい練習を繰り返して、辞めたいと思った時期もあったのですが、先輩から励まされヨット部で頑張ることを決意。それからしばらく人と上達して3年次にはスナイプ級（2人乗りの公式戦用ヨット）のレギュラーになりました。ホジションはクルー。クルーは主にジブセール（帆）を扱い、海図やレース当日の天気図などを見て戦略を練り、レースでは複雑に変わる風を読み、パートナーである



2年間ペアを組んだ1年次の後輩(左)と。「頼りになるパートナーでした」

スキッパーをリードする役割を担います。「さまざまな情報から自分で選択してベストの戦略を決める。レース中は瞬時に変化化する風を冷静に捉えつつ、積極的に前に出る。失敗を恐れない。そんな面白い方、いわば生き方を体に刻み込みました」。出田さんの在籍中に、ヨット部はインカレ全国大会3度の優勝。このうち3、4年次の2連覇は出田さんペアが中核となって成し遂げたものです。また、4年次に出場したスペインが世界選手権のスナイプ級を主催する日本代表の3チームでは最高の成績を収めました。



合力先生と卒業記念のツーショット。「現在の仕事にも役立つ知識やスキルを身に付けることができました」

合力先生との出会いは2年次。合力ゼミではエントリーする学生に、自己アピール文を提出させていました。出田さんが自身を表現したフレーズは、気合いあり、空回り多し。合力先生はこのフレーズが強く印象に残り、今でも覚えているとか。出田さんは照れながら「本当にこの通りの学生生活でした。好奇心旺盛で、一つの現象や状況に対し、幾つもの課題と基本的に変わりません。出田さんはこの課題をクリアするために、流通の整備をメインに農産物の安定供給のための基盤作りを尽力しました。

を掛け、担当者に直訴しました。「話だけでも聞いてもらえませんか」。最初は不審げに見ていた担当者でしたが、出田さんが語る農業の現状、思い描く未来像など、農業への熱い思いに裏打ちされた主張に熱心に聞き入るようになり、ついにこう言いました。「それは試験を受けてみますか?」「はい、よろしくお願いします」。風は起きました。九州で4人採用という超難関を突破して出田さんはJA全農に入会。2000年4月のことでした。

「世界という視野に立ち、日本の農産物の安定供給を実現する」

JA全農では青果担当に。当時、青果物をはじめ生産者の収入は時給に換算すると300円に届かないという説がありました。原因は天候に影響される生産の多寡、その生産も旬の時期しか売れないという不安定さなど、現在でも出田さんが直面している



ニュージーランドで買い付けたトマトの栽培状態を確認

「基盤を作れば、生産農家の生活レベルの向上に何らかの貢献ができます。また、新しい青果物の紹介や、旬ではない時期でも売れるように青果物のレシピ提案などにも取り組んだそうです。「山形県のと。だから豆やを全国大手のスーパーでイベントを仕掛けて広めたり、冬のイメージが強い、えのき茸をキュウリであえた夏用レシピでキャンペーンを行ったり。このような仕事を通して、生産の現場から売り場までのシステムに精通したころ、出田さんはある焦燥感を感じるようになり、出田さんはある焦燥感を感じるようになり、現在の職場ではそのシステム全体を改善することは難しい。「壁と言いますかここではもう私にとつての新しい風が吹かないのではないかと」。そう考えたと、矢も盾もたまず行動を起こしていました。ぶつかった壁が壊れた瞬間、風が吹きました。伊藤忠商事という世界スケールの商社が、日本農業の再建のために「日本の農業法人と合併で新会社を設立する」という新しい風でした。

「自給率をアップさせながら、農産物をバランス良く世界から取り入れていく」

「転職を意識しはじめた最初のころは農業のAからZまでを統括できるような新しい会社を起業しようかと思いましたが。そのために

のリアクションを起こしてしまう。関心を持つと、何にでも没頭して取り組んでしまうのです」。気合いでぶつかり、空回りしても失敗しても、アクションを起こすことが重要。出田さんは、そんな気持ちでゼミでの学びに取り組みしました。「合力ゼミの特徴はディベートを重視していたことです。例えば「ネットワークビジネスは是非か」というテーマ。私はあえて自分の主張とは逆の肯定派に回りました。どのような情報やデータをそろえ、どのような理論で肯定していくか想像しながら準備しディベートに臨みます。この学びで得た表現力や交渉力などは、今でもプレゼンテーションを行う際にとても役立っています。一人一人の特性を見だし、自由に伸ばしていく合力先生の指導の下、出田さんは好奇心という風に乗って、さまざまなテーマへ積極的に走っていきま

「風は吹かない。捉える風がない。それならば風を自分で起こせばいい」

やがて就職活動の時期。出田さんはエントリーシートを前に、自分自身と真剣に向き合っていました。「将来は何になりたいのだろう」。入学時の志望は世界を舞台に活躍できる貿易関係。しかし、長男という立場や大学で伸び伸びと学べるよう仕送りをしてくれる両親への感謝、そして何より、代々続いてきた農業という強いバックボーンに思い至りました。「結局のところ、それが自分のルーツみたいなのだったので」。進路に迷っ

は経営の知識も必要だと思ひ、商社の求人を見ていたところ、伊藤忠商事の「国産青果新会社設立のためキヤリア採用開始」という告知を見て、これだ!と思ひました。すぐにアポイントを取り面接互いのニーズが一致し、転職しました。2006年9月のことでした。「生産者と実需者を直結する、農産物の新しい供給システムを作る。その商社ならではの新鮮時代を切り開く。覚悟。に共鳴して懸命に頑張りました」。入社から数年は生産の現場と交渉するため日本全国を行動。さらに国内生産の手簿管理をフォローするため、輸入事業も展開。フィリピンにバナナ、ニュージーランドにトマトやトウモロコシ、アメリカにはレタス等、世界各地で買い付けました。「商品によっては、数十トンから数百万まで英語も上達し、タフな交渉力も身につきました」と出田さんは満面の笑みを浮かべます。



1999年、スペインでの世界選手権。日本代表の3チームの中で、最高位。この年に、インカレでも2連覇を達成。「当時のヨット部は無敵艦隊と呼ばれていた」

たときは父母や家族の職業に目を向けるのも一つの方策だと出田さんは言います。「自分と同じ遺伝子を持つ人が選んだ職業は、自分にも向いている確率は高いと思います」。進路を定めた出田さん。農家の現状にあらためて目を向けると、生活や収入が安定しているとはいえない状況です。解決策の一つは、農産物の安定供給。そのためには一人の生産者ではなく、日本の農業システム自体を改革することが可能な組織で働きたいと決意しました。その気持ちになったのがJA全農です。しかし、勇んで書きつづけたエントリーシートに芳しい返事は来ませんでした。「風は吹かない。捉える風がない。それならば自分で風を起こせばいいじゃないか」。出田さんはJA全農の福岡支所(当時)に電話

在学生へのメッセージ

グローバル社会での交流・交渉。成功のキーワードはリスペクトです。

大学時代にスペインで開催されたヨットの世界選手権に参加し、社会人になってからは青果物の買い付けのために世界各国を回りました。このような経験で体感したことは「交流・交渉の基本はリスペクトである」ということです。相手への敬意があれば、複雑な問題でも必ず解決の糸口が見つかります。逆に言えば敬意がなければうまくまとまりません。また相手にも自分に敬意を持ってもらうためには、自分の知識を高め、精神を磨き、常に誠意を持って相手と向き合うことが大切です。これは海外だけでなく、国内の例えば企業の採用面接等にも通じる真理だと思います。

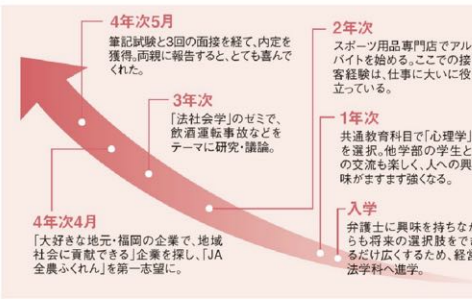
さまざまな職場で働く  
若き先輩たちの貴重な言葉が  
就職活動を後押ししてくれます。

## 自分を育ててくれた福岡に JAの仕事を通して恩返しを

全国農業協同組合連合会 福岡県本部 管理部 務務人事課  
柴田 耕太郎 さん 法学部経営法学科 2014年卒業



就活サクセスチャート

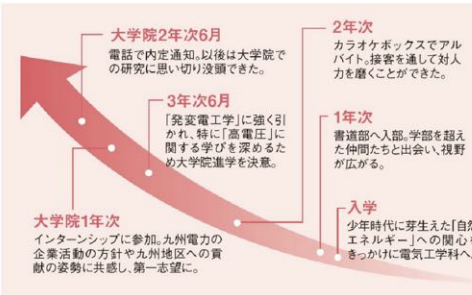


農業のさまざまな現場に立ち  
生産者の生の声をじかに聞く

JA全農（全国農業協同組合）の福岡県本部に勤務する柴田さん。所属の総務人事課では多くの全農関係者と接するため、顔を覚えてもらえるのが大きなメリットです。「JAは異動が多く、ネットワークが広いほどスムーズに働くことができます」。現在の主な仕事は広報業務。例えば、定期発行の「農業新聞」の取材記事作成等です。「戸惑うことも多いですが、農業の現場に赴き、生産者の生の声を聞くのはとても勉強になります」。地元を愛し、農業を愛し、人との出会いや交流を大切にしている柴田さん。一面に水田が広がっていた福岡市西区橋本に生まれ、親が会社勤めをする傍らで作られた米など豊かな「食材」に囲まれて育ちました。長男として家を継ぐ責任、地元で、また福岡大学で多くの「人」との縁に恵まれたことへの感謝が、現在の仕事を選ぶ大きな動機になりました。



就活サクセスチャート



## 電源ベストミックスという方針に 深い共感を覚えて九電を希望

九州電力株式会社（株式会社 九電ハイテック）に出向中  
古場 裕介 さん（工学部電気工学科 2011年卒業  
工学研究科電気工学専攻 2013年修了）

暮らしの基盤である電気の  
安定供給に強い使命感を持つて

古場さんは工学部電気工学科を卒業後、本学大学院工学研究科電気工学専攻へ進学。2013年4月に九州電力（株）へ入社し、現在はグループ企業の（株）九電ハイテック鹿児島支社に出向しています。所属する発変電工グループでの主な仕事は、発変電所の点検・補修。鹿児島市内をはじめ川内、大隅半島さらに離島も担当しています。「電気は暮らしを支える基盤。安定供給のためには、事故や故障の見逃しは許されません」。常に精神を研ぎ澄まして業務に携わる日々。指差し呼称行動、2人以上での相互確認など、緻密な点検技術も板についてきました。「当たり前のように電気が使え、安心して日常生活を送れる環境」を維持する、そのことに使命感と誇りを持って発変電施設を巡回する古場さん。そんな毎日を支えているのは少年時代に育んだ「エネルギー」への思いと、福大工学部時代の「発変電工学」をはじめとする学びです。

## 就活メモリー

農と人に寄り添い、豊かな食と地域づくりに貢献していきたい

高校生のころ弁護士という仕事に興味を持つ反面、民間企業にも関心があった柴田さん。法学と経営学を併せて学ぶことで、卒業後の就職や進路選択の幅を広げたいという気持ちで経営法学科へ。ゼミの「法社会学」では、飲酒運転事故などの身近な事件を調べ、その事件の社会的影響などの討論を通して法学の面白さに目覚め、尊敬する先生や心を通じ合える学友と出会えました。やがて就職活動期。自分の将来を見据えて、柴田さんが出した結論は「地元・福岡で働ける、食関連の企業への就職」でした。そして出合ったのが「JA全農ふくれん」です。「大きな縁を感じ、もう他の企業は目に

入りませんでした」。JAのことを徹底的に研究し、志望動機も「長男として家を守りつつ、愛する農と食、地元と人々に恩返ししたい」と明確に定めて面接に臨み、数百人のうち6人採用という難関を突破しました。そして今、柴田さんの目標は「豊かな食づくり・地域づくりに貢献できる。全農人。になること」です。



### 就活アドバイス

私は面接で「分かりません」と言わないことを目標にしました。徹底的に面接を受けている企業のことを調べ、自分なりの意見を用意しました。「分からない」質問が来ても懸命に考える。その姿勢が内定につながったと思います。

環境世紀にふさわしい電源ベストミックスの可能性を開いていく

電気工学科に進学したきっかけは、長崎での少年時代に知人から「自然エネルギー」に関する話を聞いたこと。環境に配慮しながら電気をつくる、その考えや技術に興味を持ちました。学科では日本有数の「人工雷発生装置」をはじめ、先端設備を活用して学んだ「発変電工学」に強く引かれ、特に「高電圧」に関する学びを深めました。就職か進学かで迷った末「高電圧に関する研究を続けたい」と本学大学院へ進みました。研究の傍ら、将来を見据えて電気工学に関連する企業をリサーチ。大学院1年次に就職・進路支援センターの紹介で九州電力（株）のインターンシップに参加しました。



### 就活アドバイス

一般論ではなく「自分」にとっての志望企業の魅力を考えてみてください。私はインターンシップを通じて電源ベストミックスの推進と「生まれ育った九州への貢献に魅力を感じました」。

## 就職・進路支援センター からのお知らせ

就職・進路支援センターでは、学生の皆さんにさまざまな支援行事を準備しています。積極的に参加してください。

### 10-12月の行事予定

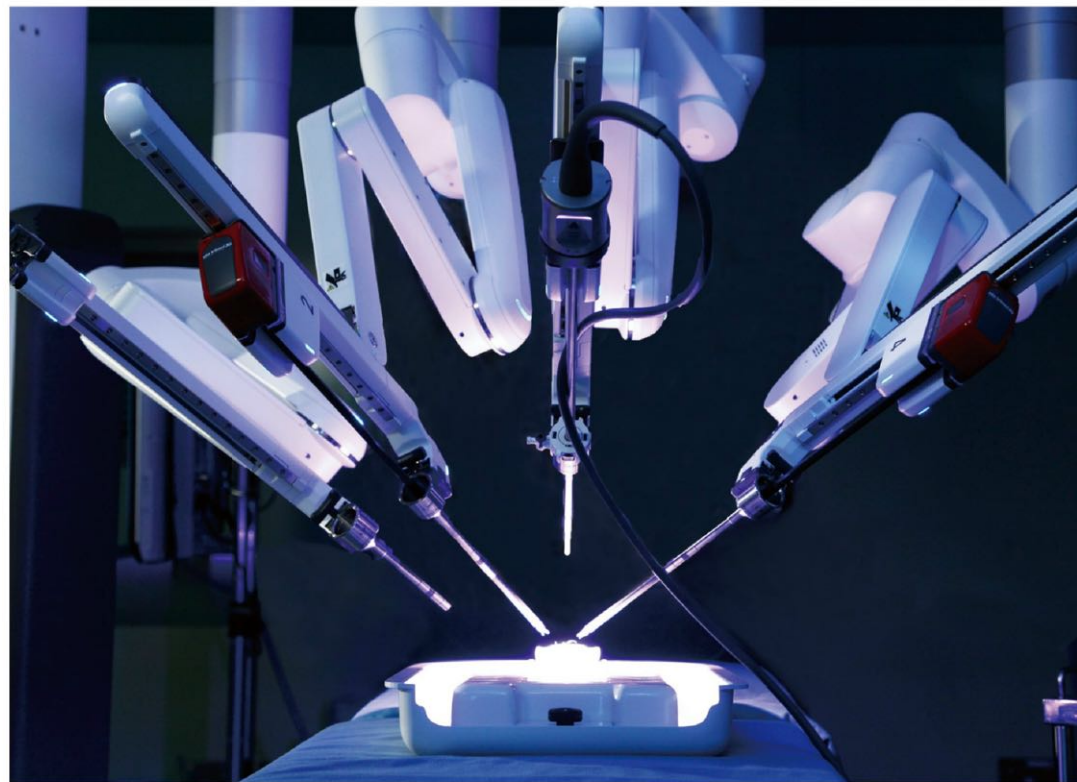
- 全学年対象
- 11月
    - 女子学生支援セミナー
  - 12月
    - 業界研究セミナー
    - 東京駐在員との就職情報交換会
- 4年次生・大学院2年次生対象
- 10-12月
    - 就職フォローガイダンス
    - 学内合同企業説明会・選考会
- 3年次生・大学院1年次生対象
- 10月
    - 第2回就職ガイダンス
    - 学生アドバイザーとの就職なんでも相談会
    - 就職実践マナーセミナー
    - 公務員採用試験ガイダンス
  - 11月
    - 1日で自己PRから履歴書が描けるようになるセミナー
    - 学生アドバイザーによる個別相談会
  - 12月
    - 第3回就職ガイダンス
    - 集団模擬面接
- 支援行事日程等の詳細については、FUポータルや学内掲示、就職・進路支援センターのウェブサイト、Facebookで確認してください。
- 就職活動専用の「サテライト」を東京と大阪に開設しています。
- 東京サテライト  
東京都新宿区西新宿1-22-2  
新宿サンエービル1F
  - 大阪サテライト  
大阪市北区堂山町3-3  
日本生命梅田ビル7F
- 【就職・進路支援センター公式ウェブサイト】  
http://www.career.fukuoka-u.ac.jp



アームは1人の執刀医が患部の3D映像を見ながら遠隔操作。手術ではスタッフ全員の連携した動きが重要となる



本番の手術さながらのシミュレーションを重ね、操作技術の向上やチームの連携強化を図る泌尿器科のスタッフたち



4つのアームの緻密な動きで精度の高い内視鏡手術を可能にする最新モデル「ダビンチXi (da Vinci Xi)」。

## 最新モデル医療ロボット「ダビンチXi」の九州初導入でより高度な先進医療を提供

### 内視鏡手術支援ロボット「ダビンチXi (da Vinci Xi)」

患者の身体への影響を大幅に軽減する低侵襲手術が可能な最新モデル医療ロボット。電気メスや3Dカメラが装着されたアーム部と執刀医が操作を行うコントローラー部、患部の映像を映し出すビジョンパネルの3つの主要機器で構成され、複雑な手術動作が可能。

### 繊細なアームの動きが極めて高精度の手術を可能に

2015年6月、福岡大病院にまた一つ、最先端医療機器が導入されました。その名は、「ダビンチXi (正式名称: da Vinci Xi)」。「これはアメリカで開発された内視鏡手術を支援する医療ロボットの最新モデルで、欧州やアジアでも普及が進んでいます。ロボットといっても自動で手術をするのではなく、医師が高精細な3D映像を見ながらロボットアームを遠隔操作して患部の切除や縫合を行います」。こう話すのは、ダビンチの導入に尽力した一人である泌尿器科・医局長の入江慎一郎先生。「2012年4月に

ます。人材育成の面から見ても非常に意義のあることです」と付け加えます。

また、ダビンチを使って手術を行えるのは、国と泌尿器科学会、メーカーの認定を受けた医師のみ。認定を得るために義務付けられているのが、さまざまなトレーニングの実施や研修への参加です。田中先生と入江先生は、名古屋にある藤田保健衛生大学のトレーニングや広島大学での手術見学など、規定に沿った全てのプログラムを修了し、認定医としての資格を取得しました。そして、8月3日(月)にはこのダビンチを使った九州初の前立腺がん手術を実施。執刀に当たった田中先生に感想を尋ねると、「長年培ってきた腹腔鏡手術の技術と経験、そしてトレーニングの成果を十分に発揮してイメージ通りの手術ができ、ダビンチの可能性に確かな手応えを感じています」という力強い答えが返ってきました。

今後は腎臓がん手術への活用や泌尿器科以外の診療科への運用拡大、新たな認定医の育成など、ダビンチに関するプランが計画されているといます。日々、医療の進化に貢献し続ける福岡大病院の挑戦に終わりはありません。



ダビンチを使つての前立腺がん手術が保険適用となり、日本でも急速にダビンチの普及が進んでいます。実は5年ほど前から導入を検討していましたが予算化が難しく、なかなか実現には至りませんでした。しかし、今年に入り最新モデルが開発されたタイミングもあって、より高度な先進医療を提供するために導入する運びとなりました」と経緯を説明します。

ダビンチは2015年6月時点で国内に192台が導入されていますが、全国に5台しかない最新モデルXiの導入は九州初。福岡大病院では当面、前立腺がん手術での活用を推進していくとのこと。執刀医である泌尿器科・診療部長の田中正利先生は、「最大の特長は従来の腹腔鏡手術の鉗子操作では成し得ない極めて繊細なロボットアームの動き。特に最新モデルはアームの可動域が広がったため、いっそう正確で安全な腹腔鏡手術が可能になります。それにより合併症の回避や手術時間の短縮につながるほか、手術中の患者さんの負担軽減や術後の早期回復も望めます。患者さんに大

### 九州トップレベルの呼吸器外科として最先端の医療を提供

今後呼吸器外科でも肺がんや縦隔腫瘍・胸部のがんの手術でダビンチを活用することが決まっています。同科の岩崎昭彦先生は「心臓に近く、多くの血管や神経が集中している肺や胸部の手術は非常に繊細な動きが求められるので、ダビンチを使えばより手術の精度を上げられます」と期待を口にします。さらに、「世間では九州の呼吸器外科と言えば、福岡大病院がトップレベルという評価をいただいています。今後もそれに応えるため、確かな技術と最新機器の融合を提供していきます」と抱負を話します。ダビンチは消化器外科でも活用していく予定。このように福岡大病院では、時代の変化に対応し、社会や患者さんのニーズに応えるために医療体制の充実に取り組んでいます。





Table with 2 columns: 研究種別/所属 (Research Category/Affiliation) and 代表者名 (Representative Name). Lists various research projects across departments like Engineering, Life Science, and Social Science.

【科研費（一部基金分）】
基礎研究(B)
Table with 2 columns: 研究種別/所属 (Research Category/Affiliation) and 代表者名 (Representative Name).

若手研究(A)
Table with 2 columns: 研究種別/所属 (Research Category/Affiliation) and 代表者名 (Representative Name).

厚生労働省
厚生労働科学研究費補助金
Table with 2 columns: 研究種別/所属 (Research Category/Affiliation) and 代表者名 (Representative Name).

環境省
環境研究総合推進費補助金
Table with 2 columns: 研究種別/所属 (Research Category/Affiliation) and 代表者名 (Representative Name).

Table with 2 columns: 研究種別/所属 (Research Category/Affiliation) and 代表者名 (Representative Name). Lists various research projects across departments like Life Science, Engineering, and Social Science.

挑戦的萌芽研究
Table with 2 columns: 研究種別/所属 (Research Category/Affiliation) and 代表者名 (Representative Name).

若手研究(B)
Table with 2 columns: 研究種別/所属 (Research Category/Affiliation) and 代表者名 (Representative Name).

Table with 2 columns: 研究種別/所属 (Research Category/Affiliation) and 代表者名 (Representative Name). Lists various research projects across departments like Life Science, Engineering, and Social Science.

平成27年度

# 科研費の採択結果

(平成27年7月31日現在 交付決定通知分のみ)

平成27年度科研費について、次のとおり採択されました。

Table with 2 columns: 研究種別/所属 (Research Category/Affiliation) and 代表者名 (Representative Name). Lists various research projects across departments like Life Science, Engineering, and Social Science.

Table with 2 columns: 研究種別/所属 (Research Category/Affiliation) and 代表者名 (Representative Name). Lists various research projects across departments like Life Science, Engineering, and Social Science.

# 平成26年度 学校法人福岡大学収支決算

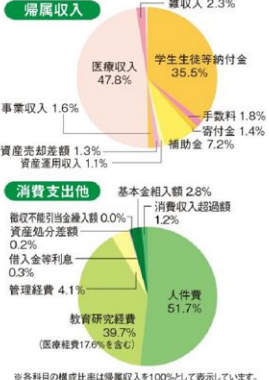
- 消費収支においては、9億2,288万円の消費収入超過となりました。
- 基本金組入額を20億6,300万円計上しました。

### 平成26年度消費収支計算書 (決算規模742億円)

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
<b>消費収入の部</b>			
学生生徒等納付金	26,604,603	26,385,182	△ 219,421
手数料収入	1,276,201	1,365,793	△ 89,592
寄付金収入	885,274	1,043,639	△ 158,365
補助金収入	5,293,446	5,336,199	△ 42,753
資産運用収入	560,636	806,739	△ 246,103
資産売却収入	0	980,573	△ 980,573
事業収入	983,098	1,167,708	△ 184,610
医療収入	36,824,318	35,456,980	△ 1,367,338
雑収入	1,417,485	1,690,813	△ 273,328
<b>帯属収入合計</b>	<b>73,485,061</b>	<b>74,233,626</b>	<b>△ 388,565</b>
基本金組入額合計	△ 4,072,098	△ 2,063,004	△ 2,009,094
<b>消費収入の部合計</b>	<b>69,772,963</b>	<b>72,170,622</b>	<b>△ 2,397,659</b>
<b>消費支出の部</b>			
人件費支出	39,327,721	38,384,650	943,071
(退職給付引当金)	(2,437,178)	(2,174,955)	(262,223)
教育研究経費	30,402,181	29,502,596	899,585
(減価償却費)	(6,021,767)	(5,900,715)	(121,052)
管理経費	3,148,243	3,048,544	99,699
(減価償却費)	(415,217)	(403,667)	(11,550)
借入金等利息	197,574	190,635	6,939
資産処分差額	0	113,430	△ 113,430
徴収不能引当金繰入額	0	7,884	△ 7,884
予備費	262,118	0	262,118
<b>消費支出の部合計</b>	<b>73,337,837</b>	<b>71,247,739</b>	<b>2,090,098</b>
当年度消費収入超過額	0	922,883	0
前年度消費収入超過額	3,564,874	0	3,564,874
前年度繰越消費支出超過額	17,286,407	14,834,036	2,452,371
基本金取崩額	0	11,235	△ 11,235
翌年度繰越消費支出超過額	20,851,281	13,899,918	6,951,363
<b>帯属収支差額</b>	<b>507,224</b>	<b>2,985,887</b>	<b>△ 2,478,663</b>

(注) [予備費]は未使用額を差し、( )内の金額は使用額を示す。



### 消費収支決算の概要

(予算との比較)注：↑増加を示す、↓減少を示す

**消費収入の部**

- 資産売却差額 ↑有価証券の償還差益。
- 医療収入 ↓福岡大病院における外注業務の削減。
- 消費収入合計は742億3,362万円となり、予算比で3億8,856万円の増加。また前年比では16億166万円の増加となりました。

**消費支出の部**

- 人件費 ↓教職員数の差異等による減少。
- 教育研究経費 ↓施設関係の修繕費減少による。
- 消費支出の合計は71億2,477万円となり、予算比で2億2,090万円の減少。また前年比では5億4,577万円の減少となりました。

**(消費収入と消費支出)**

消費収入から消費支出を差し引いた72億7,063万円の消費収入超過となります。この消費収入超過は、変更することである金額となりますが、平成26年度は29億8,568万円の消費収入超過となりました。

**(帯属収支差額)**

消費収入から消費支出を差し引いたものを帯属収支差額といいます。平成26年度は29億8,568万円の消費収入超過となりました。

**(帯属収支差額比率)**

消費収入と消費支出に対する割合であり、この比率が高いほど収支は安定的であると見られます。平成26年度は4.0%であり、前年度より0.4ポイント高くなりました。

### 平成26年度資金収支計算書 (決算規模1,192億円)

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
<b>収入の部</b>			
学生生徒等納付金	26,604,603	26,385,182	△ 219,421
手数料収入	1,276,201	1,365,793	△ 89,592
寄付金収入	885,274	1,043,639	△ 158,365
補助金収入	5,293,446	5,336,199	△ 42,753
資産運用収入	560,636	806,739	△ 246,103
資産売却収入	0	11,141,875	△ 11,141,875
事業収入	983,098	1,167,708	△ 184,610
医療収入	36,824,318	35,456,980	△ 1,367,338
雑収入	1,417,485	1,548,611	△ 131,126
前受金収入	5,328,751	5,451,632	△ 122,881
その他の収入	21,843,353	24,861,522	△ 3,018,169
資金収支調整勘定	△ 12,670,878	△ 12,911,366	240,488
前年度繰越支払資金	17,738,710	17,695,348	43,362
<b>収入の部合計</b>	<b>106,084,997</b>	<b>119,203,482</b>	<b>△ 13,118,485</b>
<b>支出の部</b>			
人件費支出	39,092,849	38,199,395	893,454
教育研究費支出	24,341,674	23,613,555	728,119
管理経費支出	2,732,522	2,627,203	105,319
借入金等返済支出	197,574	190,635	6,939
設備関係支出	1,937,270	539,270	1,398,000
設備関係支出	1,445,505	1,153,064	292,441
設備関係支出	2,789,414	1,968,560	820,854
資産運用支出	6,379,178	21,303,464	△ 14,924,286
その他の支出	16,170,047	19,374,459	△ 3,204,412
予備費	265,348	0	265,348
次年度調整勘定	△ 5,671,768	△ 5,324,374	347,394
次年度繰越支払資金	17,809,384	15,564,251	2,245,133
<b>支出の部合計</b>	<b>106,084,997</b>	<b>119,203,482</b>	<b>△ 13,118,485</b>

(注) [予備費]は未使用額を差し、( )内の金額は使用額を示す。

### 学校法人会計の豆知識

- 学校法人は営利の追求を目的とする一般企業とは異なり、教育研究活動を目的とする公益性の高い法人です。
- 学校法人が作成する計算書類は、主として以下の3つです。
  - 資金収支計算書**
    - 1. 企業会計の「キャッシュフロー計算書」に似た性格を持つ計算書です。
    - 2. 家計では家計簿のように現金預金の出入りを集計した計算書です。
  - 消費収支計算書**
    - 1. 企業会計の「損益計算書」に似た性格を持つ計算書であり、採算の取れた経営を行っているか、経営上赤字になっていないかを見る計算書です。
    - 2. 企業会計の「損益計算書」では計上対象とならない資本的支出が基本金組入額として計上されていきます。
  - 貸借対照表**
    - 1. 年末末における資産・負債・自己資金(基本金、消費収支差額)を表します。
    - 2. 財政状態の健全性・負債・自己資金の保有状況、今までの学校法人の活動を行った積み重ねの結果を表します。



学校法人 福岡大学 常務理事 財政担当部長 畠田 公明

学校法人福岡大学の1年が数字で如実に表現された決算。それは、今後の課題であり、ジョンへの道標でもあります。畠田副学長から、平成26年度の監査報告について説明してもらいました。

その結果、学校法人福岡大学の業務に関する決定および執行にいて、不正行為または法令もしくは附行為に違反する重大な事実の存在が認められませんでした。併せて学校法人の資金収支の計上、消費収支計算書、貸借対照表およびその附属明細表並びに収益事業会計の合併損益計算書および合併貸借対照表は、平成27年3月15日をもって終了する会計年度の収支状況および同日現在の財政状態を正しく示しているものと認められました。

また、新しい時代にあふれる高度化の要求に際して、高次学術教育、人文教育、大学入学者選抜の体系的改革について、平成26年12月22日中教審答申を踏まえ、高大接続改革を早急に実行する観点から、文部科学省を踏まえ、高大接続改革実行プランが策定されています。本法人もヒード等をもつ対応する必要がございます。このよう状況下で今後、益々コスト意識を持ち、コストに見合った教育研究設備サービスを提供していくこと、ひとつひとつ丁寧に点検し見直し、いくが必要になってくると思います。

関係各位のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 学校法人福岡大学監事からの報告および要望

① 入学志願者数と就職率について

② 財政状況について

③ 福岡大病院と福岡大学 筑紫病院の業務移移について

④ おわりに

① 入学志願者数については、24年度(前年度比)は47,805人、25年度(前年度比)は48,584人、26年度(前年度比)は48,272人と、平成26年度のピーク67,722人と比べ減少傾向にあります。また、前年比で約7.2%減少し、27年度(前年度比)は47,805人と見込まれます。減少の要因としては、18歳人口減少の対応策として、平成27年度入学志願者の確保に努めようとしていること、16歳人口増加による受験者数増加の心配、また、前期比で約1割の減少を招いたこと、併せて、26年度前期の試験実施予定に就いては、大学出欠率の減少により受験生数を確保し、前期比に比べて九州全域を増設し、約800人の志願者を確保。

② 財政状況については、24年度(前年度比)は47,805人、25年度(前年度比)は48,584人と、平成26年度のピーク67,722人と比べ減少傾向にあります。また、前年比で約7.2%減少し、27年度(前年度比)は47,805人と見込まれます。減少の要因としては、18歳人口減少の対応策として、平成27年度入学志願者の確保に努めようとしていること、16歳人口増加による受験者数増加の心配、また、前期比で約1割の減少を招いたこと、併せて、26年度前期の試験実施予定に就いては、大学出欠率の減少により受験生数を確保し、前期比に比べて九州全域を増設し、約800人の志願者を確保。

③ 福岡大病院と福岡大学 筑紫病院の業務移移については、24年度(前年度比)は47,805人、25年度(前年度比)は48,584人と、平成26年度のピーク67,722人と比べ減少傾向にあります。また、前年比で約7.2%減少し、27年度(前年度比)は47,805人と見込まれます。減少の要因としては、18歳人口減少の対応策として、平成27年度入学志願者の確保に努めようとしていること、16歳人口増加による受験者数増加の心配、また、前期比で約1割の減少を招いたこと、併せて、26年度前期の試験実施予定に就いては、大学出欠率の減少により受験生数を確保し、前期比に比べて九州全域を増設し、約800人の志願者を確保。

④ おわりに

平成27年4月1日改正学校教育法が施行され、大学が改正学校教育法に基づいて、不正行為または法令もしくは附行為に違反する重大な事実の存在が認められませんでした。併せて学校法人の資金収支の計上、消費収支計算書、貸借対照表およびその附属明細表並びに収益事業会計の合併損益計算書および合併貸借対照表は、平成27年3月15日をもって終了する会計年度の収支状況および同日現在の財政状態を正しく示しているものと認められました。

② 財政状況について

③ 福岡大病院と福岡大学 筑紫病院の業務移移について

項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
帯属収入	710,695	712,726	726,742	722,712	727,712
消費支出	62,35	4	4	30	30
消費収支差額	8%, 50%	0.6%	0.6%	0.4%	0.4%
消費収支差額(全平均)	5,802(25%)	5,636(21%)	5,421(21%)	5,128(21%)	5,128(21%)
前受金収入	1,810,516	1,888,016	1,938,516	1,999,914	1,974,404
前受金収入(前年度比)	△128(+50)	△128(+50)	△128(+50)	△128(+50)	△128(+50)
前受金収入増加率	8.5%	8.5%	8.5%	8.5%	8.5%
前受金収入超過額	1,281,917	1,281,917	1,281,917	1,281,917	1,281,917
前受金収入超過率	88.3%	88.3%	88.3%	88.3%	88.3%

注: 前年度比は前年度を100%とした場合の増減率を示す。前年度比は前年度を100%とした場合の増減率を示す。

④ おわりに

平成27年4月1日改正学校教育法が施行され、大学が改正学校教育法に基づいて、不正行為または法令もしくは附行為に違反する重大な事実の存在が認められませんでした。併せて学校法人の資金収支の計上、消費収支計算書、貸借対照表およびその附属明細表並びに収益事業会計の合併損益計算書および合併貸借対照表は、平成27年3月15日をもって終了する会計年度の収支状況および同日現在の財政状態を正しく示しているものと認められました。

④ おわりに

平成27年4月1日改正学校教育法が施行され、大学が改正学校教育法に基づいて、不正行為または法令もしくは附行為に違反する重大な事実の存在が認められませんでした。併せて学校法人の資金収支の計上、消費収支計算書、貸借対照表およびその附属明細表並びに収益事業会計の合併損益計算書および合併貸借対照表は、平成27年3月15日をもって終了する会計年度の収支状況および同日現在の財政状態を正しく示しているものと認められました。

Information

— 大学情報 —

福岡大学で起こっていることを ニュース形式でお届けします。

平成27年度 父母懇談会を本学と 全国7会場で開催

6月20日(土)と21日(日)の2日間、本学七隈キャンパスで平成27年度父母懇談会を開催し、延べ2,813人のご父母等が出席されました。

この父母懇談会は、教育・研究・医療や社会貢献など本学の現状と、父母の皆さまにご報告し理解を深めていただくとともに、ご子女の学修、生活、就職、進路等について懇談することを主目的としています。



ご父母からのご子女に対する生活から進路全般にわたる相談に、教授陣が親身に対応



会場が満席になった学部の説明会。ご子女の学生生活に関する話に真剣に耳を傾けていた

職・進路支援状況についての報告相談を実施しました。どのブースでも熱心に相談や質問をされるご父母の姿が見られました。また、学生が日々ご利用している学生食堂も体験していただき大変好評でした。本学以外では、5月に東京、6月に松山、宮崎、佐賀、広島、7月に熊本、那覇の計7会場で開催し、延べ7,099人のご父母が出席されました。本学、地方会場とも大学紹介DVDの上映および資料展示コーナーを設け、ご父母の皆さまに就職関係、学生生活、教務関係、課外活動の様子や学内施設などをご覧いただきました。各会場では本学と同様の説明会と個別相談のほか、本学同窓会「有信会」の地域支部の代表から、卒業生の活躍や地元の就職状況についての説明も行われました。

- 遠方の大学にいる子どもが、どんな環境にいるのか話が聞いて良かったです。
■ まだ1年生ですが、履修状況、授業の出席状況等が分かり、ありがたかったです。一人一人のことを細やかに対応していただき、安心した。
■ 保護者の知りたい情報を簡潔に説明していただいたので、とても分かりやすかったです。
■ 本日の説明会で、子どもが大学でどんなことをしているのか、親としての心構え、大学のことについてある程度理解できた。
■ 成績・授業の出席状況の確認ができ、今後について子どもと話し合っていくことができるので良かったです。

福岡大学への寄付者ご芳名一覧

本学に対し多大なるご寄付を賜り、深く感謝いたします。ここに、平成27年1月1日から6月30日の間にご寄付いただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。

- 174,800,259円
福岡大学父母後援会 様
■ 49,670,921円
福岡大学附属大濠高等学校後援会 様
■ 16,000,000円
福岡大学附属若葉高等学校後援会 様
■ 8,271,795円
福岡大学附属大濠中学校保護者会 様
■ 5,000,000円
日本泌尿器内視鏡学会 様
■ 1,440,000円
福岡大学附属大濠高等学校同窓会 様
■ 1,000,000円
公益財団法人藍教育振興会 代表理事 田中 達也 様
■ 750,000円
医療法人療社会 松本病院 理事長 松本 直樹 様
■ 291,856円
福岡大学附属大濠高等学校第62回卒業生 様
■ 200,000円
株式会社そうりん 代表取締役 藤井 富生 様
■ 68,000円
日代 浩幸 様
■ 50,000円
・サウト酒店(八女市) 様
・NPO法人 フィールドワークスジャパン
民俗芸能伝承学舎(東京) 代表 伊藤 多喜雄 様
■ キューピースメーカー
梅谷 守男 様
■ 卒業生名簿編および絵画一点
平成26年度福岡大学附属大濠中学校卒業生一同 様
■ 視聴覚室プロジェクター、映写・収納カート
柔道部OB有志一同 代表 古田 誠 様
■ 傘取りHD 2台
福岡大学スポーツ科学部 平成26年度卒業生一同 卒業生代表 辰野 裕康 様
■ スナイプ級ヨット 2艇
福岡大学ヨット部OB会会長 八尋 茂 様
■ プロジェクター一式・スクリーン
平成26年度福岡大学附属若葉高等学校卒業生一同 様
■ 試験線リミキサ
日工 株式会社 様

■ 貸借対照表 (決算規模2,348億円)

Table showing Balance Sheet (貸借対照表) with columns for Item (科目), Current Year End (本年度末), Previous Year End (前年度末), and Change (増減). It is divided into Assets (資産) and Liabilities & Equity (負債の部, 基本金の部).

Table showing Balance Sheet (貸借対照表) with columns for Item (科目), Current Year End (本年度末), Previous Year End (前年度末), and Change (増減). It is divided into Assets (資産) and Liabilities (負債の部).

Table showing Equity (基本金の部) with columns for Item (科目), Current Year End (本年度末), Previous Year End (前年度末), and Change (増減).

Table showing Reserve and Appropriation (繰上り金) with columns for Item (科目), Current Year End (本年度末), Previous Year End (前年度末), and Change (増減).

Table showing Expenditure and Income Statement (消費収支差額の部) with columns for Item (科目), Current Year End (本年度末), Previous Year End (前年度末), and Change (増減).

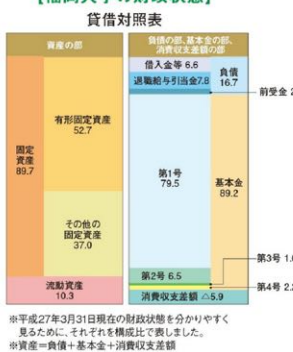
Table showing Expenditure and Income Statement (消費収支差額の部) with columns for Item (科目), Current Year End (本年度末), Previous Year End (前年度末), and Change (増減).

貸借対照表の概要

- (前年度末との比較) 注：1...増加を示す 2...減少を示す
● 資産の部 資産総額は19億2,396万円の増加。
● 負債の部 負債総額は10億6,192万円の減少。
● 基本金の部 基本金総額は20億5,176万円の増加。
● 消費収支差額の部 翌年度繰越消費支出超過額が138億9,981万円計上。

学校法人福岡大学監事からの報告および要望
① 入学志願者と就職率について
② 財政状況について
③ 福岡大学病院と筑紫病院の業績推移について

【福岡大学の財政状態】



福岡大学の財政状態を次の2つの視点から評価
Q1. 現有資産が自己資金によるものか負債によるものか。
A. 1. 自己資金(基本金+消費収支差額)の構成を指数化する。
Q2. 必要資金を現時点で保有しているのかないのか。
A. 2. 消費収支差額はマイナスであるが、基本金の保有は良好で、将来の施設取得に備えられた資金も6.5(第2号)含まれています。

平成26年度に取得した主な施設・設備

- 〈施設関係〉(土地・建物・構築物・建設仮定)
① やまなみ荘改修工事
② 文系センター棟西エレベーター取替工事
③ ラグビー場西側グラウンド整備工事
④ 福岡大学病院西別館上非常用発電機取替工事
⑤ 福岡大学病院西別館1、2階機械室空調機取替工事
⑥ 筑紫病院駐車場
⑦ 筑紫病院外構工事
⑧ 血液透析機体外科用X線撮影装置
〈設備関係〉(機械器具)
① 医用画像管理システムおよび内視鏡管理システム
② 全身用X線CT診断装置(第三CT)
③ 血管撮影機能付外科用X線撮影装置

※本学公式ウェブサイトの情報公表・財務状況(http://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/finance/)では、詳細な決算情報を公開していますのでご覧ください。

ななくま通信

学校法人福岡大学 収支決算

### アサリやタイラギなど水産資源の回復に向けて 水循環・生態系再生研究所が長洲町、 熊本北部漁協と連携・協力協定を締結

8月3日(月)、熊本県長洲町役場で福岡大学水循環・生態系再生研究所(所長:工学部社会デザイン工学科山崎惟義教授)、長洲町、熊本北部漁業協同組合と連携・協力に関する協定を締結しました。

これは、同研究所が町の干潟の環境保全への新しい取り組みについて連携、協力することを主な目的としたものです。ひいては、同町の水産資源の回復・漁獲向上、地域

産業の活性化につながり、現在減少しているアサリやタイラギの減少食い止めとなることも期待されています。

今後、同研究所では、有明海の大きな課題であるヘドロ対策に、これまでの研究成果を活用する予定。段階的に対策規模を拡大していき、ヘドロの分解、抑制を推し進めていくこととしています。



熊本北部漁業協同組合 上田代表理事組合長(左)、長洲町 中辻町長(中)、本学水循環・生態系再生研究所長 山崎惟義教授(右)

### 博多駅の新設商業施設内にサテライトクリニックを来春開設

学校法人福岡大学は、2016年春、博多駅前オープン予定の商業施設「KITE E博多」の8階にサテライトクリニック「福岡大学博多駅メディカルセンター(仮称)」を開設します。約260坪の規模を持つ同クリニックは、女性専門医が女性を総合的に診る「女性医療センター(仮称)」を備えるほか、アジアの玄関口という立地特性を生かし、インバウンド医療観光を推進する国際的な検診・予防医学等を提供していきます。また、福岡大病院や筑紫病院、地域のクリニックと連携し、紹介患者さんの検査や特殊検診

のほか、先進医療 三次医療の専門外来診療も行い、多くの方々の健康と医療に貢献していきます。

また、ワンキャンパスに医学部 薬学部、スポーツ科学部や人文学部教育、臨床心理学科といった健康・医療系の学部学科を擁する本学の強みを生かし、市民健康セミナーや運動療法士、臨床心理士、栄養士による実践教育など、学際的で新しい形の予防医学・抗加齢医学も展開していきます。



博多駅前という立地と本学の強みを最大限に生かした新しいクリニックが誕生する

### 来てみて 話して ころの整理 ヒューマンディベロップメントセンターのご案内 (HDセンター:学生相談室)

専門のカウンセラーが学生の皆さんからの相談を受け付けています。  
例えば・・・人間関係がうまくいかない  
●朝起きられない、よく眠れない、授業に行くのがおっくう など  
●試験のことが心配

どんな相談でも結構です。一人で悩まずに、HDセンターに来てみませんか?相談内容の秘密は守りますので、安心して相談してください。  
また、HDセンターでは、学生同士で日常生活上のさまざまな悩みや問題を一緒に考え、支え合うことを目的とした活動や社会的場面で役立つスキルを学ぶ活動も行っています。詳細はHDセンターのウェブサイトを確認してください。

- 費用** 無料(相談、セミナー、交流会)
- 完全予約制**
- 相談時間** 月・木・金 / 9:30~16:00  
火 / 9:30~18:40
- 場所** 学生部事務室棟3階 (1階に学生課のある建物)

○本学学生のごであれば、ご家族・教職員の方さまからのご相談もお受けしています。

ご予約・お問い合わせ **092-871-6631** (代) (内線2630) ※お電話は平日の16:30までをお願いします。  
●HDセンターウェブサイト <http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu816/home1/hd1.html>

### 平成27年度「花嶋環境基金」の奨学金を6人に交付

6月17日(水)、工学部長室で「花嶋環境基金」の奨学金交付式が行われ、荒牧重登工学部長から、郷戸貴之さん、青木裕太さん、井上紀貴さん、豊原亮喜さん(いずれも工学部社会デザイン工学科4年次生)、金堀雄伍さん(工学研究科資源循環・環境工学専攻修士課程1年次生)、竹林寛晃さん(工学研究科資源循環・環境工学専攻修士課程2年次生)の6人に対し、奨学金が交付されました。

本奨学金は、花嶋正孝名誉教授(工学部土木工学科、現社会デザイン工学科)の在職中

の研究資金などを基に設立された「花嶋環境基金」から、環境保全技術の向上および発展に寄与する優秀な人材を育成するために交付されるものです。奨学生の皆さんは、この奨学金を励みに期待します。



花嶋環境基金奨学生6人

### 平成27年度福岡大学給費奨学生証の授与式を開催

7月1日(水)、60周年記念館(ヘリオスプラザ)ヘリオスホールで、平成27年度福岡大学給費奨学生証の授与式を行いました。これは、人物学業成績ともに優秀でありながら、経済的な理由で学業継続に支障を来す恐れのある学生を援助し、優れた人材育成を目的とするもので、今回は202人に返還義務のない奨学金(文系学部30万円、商学部2部15万円、理系学部50万円)が給付されました。小野寺学部長は、「今後も大いに勉学に励んでください」と激励の言葉を掛け、給費奨学生証を授与しました。



給費奨学生証を授与される理学部応用数学科3年次生の熊井彩花さん

### イベントスケジュール

※学部や学年などによって異なる場合があります。

#### 10月

- 留学生研修旅行(3日)
- 商学部第二部秋季球技大会(11日)
- アジア圏協定校との学生交流セミナー(研修生受け入れ)(20日~29日)
- 学園祭[雅祭(商学部第二部)、前夜祭(25日)]
- 学園祭[地域パレード25日、前夜祭ライブ30日]
- 交換留学生募集[イギリス・アメリカ・フランス・ブラジル](27日~11月6日)
- 学園祭に伴う休講(31日、11月2日)

#### 11月

- 学園祭[ステージ企画・展示・模擬店]
- 七隈祭・医学祭(医学部医学科)(10月31日~11月2日)
- 雅祭(商学部第二部)(11月1~2日)

#### A方式推薦入試

- [スポーツ科学部](25日・26日)
- [その他の学部](29日)

#### B方式推薦入試(28日)

- 九州地区大学体育大会冬季大会(福岡県)(28日)
- 地域枠推薦入試(29日)
- 商学部第二部冬季球技大会(29日)

#### 12月

- 商学部第二部クリスマスパーティー(20日)
- 冬季休業開始(27日)
- 事務休業(28日~1月4日)

#### 1月

- 冬季休業終了(4日)
- 後期授業再開(5日)
- 後期授業終了(18日)
- 後期定期試験(19日~28日)
- 学部留学生入試(30日)

#### 2月

- 一般入試[系統別日程](本学・地方2日)
- 一般入試[前期日程](本学・地方3日~7日、11日・12日)
- 医師国家試験(6日~8日)
- 海外研修生派遣(アメリカ・オーストラリア)(13日~3月12日)
- 看護師国家試験(14日)・保健師国家試験(16日)
- 成績発表[4年次生以上 ほか](17日~)
- 大学院春季入試(21日~24日)
- 交換留学生派遣(中国・韓国)
- 追・再試験(26日~3月2日)

本誌「福岡大学学園通信」に関するご感想をお寄せください。より良い広報誌づくりのために、ご意見・ご感想などをお待ちしています。また、情報提供などありましたらお知らせください。

第51号(通巻221号)平成27年10月15日発行  
編集・発行:福岡大学広報委員会(企画部広報課)  
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号  
TEL:092-871-6631(代) E-mail: fupr@adm.fukuoka-u.ac.jp



元マラソン世界記録保持者・重松森雄氏  
(1966年福岡大学商学部商学科卒業)

福岡大学在学中、1965年の第69回ボストンマラソンにて大会新記録で優勝。さらに、その約2カ月後、第52回ウィンザーマラソンにて2時間12分の世界新記録を出して優勝。

[写真: ウィンザーマラソンで優勝した重松氏]

# Archive

— あの日から続く道 —

« message.03 »

## 自身に問い続け、自ら動く。

かつて、世界の大舞台で夢をかなえた福大生がいた。

「今の自分に、何ができるのか」。

彼は自問自答を繰り返し、

目標に向かってやるべきことに、力を尽くした。

ひたすら日々の授業に励み、マラソンの練習に明け暮れた。

先人の成し遂げた偉業があらためて教えてくれる。

「自身の可能性を信じ、努力を積み重ねるからこそ

進むべき道を切り拓くことができる」と。

彼は私たちに、次の言葉を送った。

「常に機を見て挑戦し、創造力を持って

変化に対応できる人になってほしい」。